

豊能町人口ビジョン（案）及び豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）パブリックコメント実施結果概要

1. 実施概要

期間：平成28年1月17日～2月15日

閲覧：ホームページ及び豊能町役場、吉川支所、図書館、中央公民館図書室

広報：ホームページ及び新聞折り込み

提出：秘書政策課・吉川支所への持参、電子メール、FAX、郵送

2. 提出数

受付件数：13件（うち1件は団体代表者2名による提出）

項目別意見数：124件（内訳）：人口ビジョン：39件、総合戦略：85件

○人口ビジョン パブリックコメント項目別件数表

人口ビジョンの項目	件数	節・項目	件数	内容
1. はじめに	1	はじめに	1	人口ビジョンの位置付けについて
2. 豊能町の人口動向	8	総人口の推移と今後の見通し	3	人口推計について
		地区別の人口動向	1	地区別人口のデータ出典について
		自然増減の状況	1	合計特出生率ランキングについて
		社会増減の状況	2	転出先、転入元の状況について
		昼間人口の動向	1	昼夜間人口比率ランキングについて
3. 人口減少・超高齢社会の影響と課題	2	住民生活	2	高齢化の進展、防災力について
5. 人口の将来展望	19	自然減の要因分析と課題整理	8	有配偶出生率の状況、子どものいる世帯の状況、まとめ、全体について
		社会減の要因分析と課題整理	8	転出の状況、住民の転出意向、転入の状況、住まいの状況、まとめについて
		人口の将来展望	3	アンケートについて、人口の将来展望における人口推計について
人口ビジョン全体について	3	データについて	2	データの比較対象自治体の設定、ビジョン全体のデータ出典について
		対応策について	1	具外的な対応策について
その他	6	策定体制について	4	人口ビジョンの策定体制について
		その他	2	他計画の進捗評価について、個別の取り組みについて
合計			39	

○総合戦略 パブリックコメント項目別件数表

総合戦略の項目	件数	節・項目	件数	内容
1. はじめに	12	総合戦略の位置づけ	3	総合計画との関係、アクションプランについて
		総合戦略の期間	1	計画期間について
		総合戦略の推進・検証	8	住民との協働、個別の取り組みについて
2. 基本的な考え方	8	人口の推移と見通し	1	人口推計について
		人口減少の要因	3	自然増減、社会増減、データの取扱いについて
		人口減少による地域への影響	1	「厳しく困難な未来」の提示について
		今後めざすべき方向	2	交流人口について、働く場について
		基本目標・施策体系	1	総合戦略の施策体系全体について
3. 施策の展開-基本目標1	12	住宅の多様化と流通促進	7	KPI、空き家対策、個別の取り組みなどについて
		効果的なシティプロモーション	1	KPIIについて
		公共交通の利便性の向上	1	個別の計画について
		基本目標1全体	3	他の基本目標との統合、キャッチフレーズ等について
3. 施策の展開-基本目標2	8	豊能ならではの教育の付加価値の創造	3	個別の取り組みについて
		豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実	1	個別の取り組みについて
		子育てをしながら働きやすい環境の整備	1	KPIIについて
		基本目標2全体	3	教育・子育て支援の面で積極的にPR、個別の取り組みについて
3. 施策の展開-基本目標3	15	新たな観光パッケージやビジネスの創出	3	個別の取り組みについて
		次世代につながる農業の活性化	3	新たな人材を発掘・育成できる仕組みづくり、個別の取り組みについて
		新しい地域のしごとづくりへの支援	3	KPI、個別の取り組みなどについて
		基本目標3全体	6	個別の取り組み、地域ごとの取り組みの重要性などについて
3. 施策の展開-基本目標4	9	地域包括ケアと連携したまちづくりの推進	3	産学連携の取り組み、シニア層の移住、個別の取り組みについて
		コミュニティカの維持・強化の支援	2	KPI、空き家を活用した場づくりについて
		社会資本・都市機能等のマネジメント	2	KPI、個別の取り組みなどについて
		基本目標4全体	2	数値目標、住民との協働について
3. 施策の展開	5	施策の展開全体	5	KPI、個別の取り組みなどについて
総合戦略全体について	8	策定体制について	1	若手や住民との意見交換の場について
		推進について	3	個別の取り組みなどについて
		その他	4	新名神高速道路の開通などについて
その他	8	個別の取り組みについて	5	—
		その他	3	審議会、パブコメについて
合計			85	

3. 分類別意見一覧

1) 人口ビジョン 分類別意見一覧

(1) 人口ビジョン「1. はじめに」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
1	I 総合的な意見 ①本件は、同時にパブリック・コメントにかけている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基礎的資料となるのか、或いはまた、単なる人口の将来展望なのか、その位置づけが薄弱だと思う。	1	はじめに	●本ビジョンは豊能町の人口動向やその影響を分析・検証し、今後めざすべき将来の方向と人口の将来展望を示すものであり、「総合戦略」は本ビジョンで示した「人口の将来展望」のうち、より高い人口推計値を実現するための今後5年間の基本目標・基本的方向、具体的施策をまとめたものです。	変更なし

(2) 人口ビジョン「2. 豊能町の人口動向」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
2	【豊能町の総人口の推移と今後の見通し】 グラフは1995年に2つの数値が与えられていて、年号と数値が一つずつずれていて、まちがいである。したがって、上下2つのグラフの豊能町の値が符合しない。	2	総人口の推移と今後の見通し	●所要の注釈を記載します	追記
3	そもそもこのページのグラフの人口推移はピーク時1995年から現在2010年の減少傾向がそのままの比率で持続すると仮定したものであり、1980年から1995年までの人口の増減の実情を見てもわかるように、人口の増減は単純なものではない。 これまでの社人研の人口推移の予想がどの程度の適合性があったのかが問題で、それによって、この数字自体の信頼度が大きい変わってくる。 また、文中には「社人研の予測によれば」という但し書きが必要ないように思われる。	2	総人口の推移と今後の見通し	●国の『「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について』では、市町村が人口ビジョン等を策定する際、社人研の「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」等国から提供するデータとワークシートを活用する旨が記載されており、本町でも同ワークシートを活用して人口推計を行っています	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
4	<p>P2の最後 「豊能町の人口は、国や大阪府を上回るスピードで急激に減少しており、今後もその傾向がつづくことが予測されています。」 →「スピードで急激に減少すると予想されており、今後もその傾向で、減少がつづく可能性が高いと示唆されています。」 決定された事実ではない。 社人研のデータの信頼度をどこかで言及すること。社人研の過去の実績で、予測が実際のデータと照合の結果、よく一致していた実績があることを付記すること。</p>	2	総人口の推移と今後の見通し	●記載の通り「(社人研の人口推計で)予測されている」内容であり、決定事項としての記載ではありません。	変更なし
5	<p>②豊能町統計のデータと国政調査データを継ぎ合わせたものがある ・地区別(東地区・西地区)の人口の推移と今後の見通し(P4) 「註」：豊能町統計と国勢調査では人口数等が異なっている</p>	4	地区別の人口動向	●当該グラフについては、東西各地区の人口の大きな推移を示すために、両データを活用しています。注釈にデータの出典が異なることを記載しています。	変更なし
6	<p>②合計特殊出生率の推移 ■豊能町の合計特殊出生率 全国でもワースト3位と極めて低い状態 →全国でも下から3位と極めて低い状態 (合計特殊出生率が低いことが必ずしも悪いことを意味しないから)</p>	9	自然増減の状況 合計特出生率の推移	●本町の特徴的な現状を知っていただくため、敢えて「ワースト」という表現を用いています。	変更なし
7	<p>③転出先の状況 大阪市を合わせると44.6%となっています。さらに全大阪府と全兵庫県を合わせると73.5%となり、大部分が隣接する大阪府と兵庫県に転出していることがわかります。</p>	12	社会増減の状況 転出先の状況	●「大阪府その他」と「兵庫県その他」については、本町から遠く離れた市町村も含まれるため、近隣地域の特徴を中心に記載しています。	変更なし
8	<p>④転入元の状況 大阪市を合わせると38.3%となっています。さらに全大阪府と全兵庫県を合わせると72.5%となり、転出と同じように、大部分が隣接する大阪府と兵庫県に転出していることがわかります。</p>	13	社会増減の状況 転入元の状況		変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
9	5) 昼間人口の動向 ■ 昼夜間人口比率は 「全国でもワースト2位となっており」・・・P9に同じ。 ワーストは値に先入観あり。当然のワースト例えば下水道普及率・交通事故死者数・疾病罹患患者数などならOKですが、この場合は疑問が残る。 下の表の中の左項「ワースト」も同じ。	14	昼間人口の動向	●本町の特徴的な現状を知っていただくため、敢えて「ワースト」という表現を用いています。	変更なし

(3) 人口ビジョン「3. 人口減少・超高齢社会の影響と課題」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
10	【介護保険第1号被保険者数と要支援・要介護認定者数の見込み】グラフ 出現率の説明 出現率(=被支援・介護者数/被保険者数)	19	住民生活 高齢化の進展	●所要の注釈を追記します	追記
11	【地域防災力の向上】 豊能町防災計画では住民自らが「自らの地域と自らの命は自らが守る」という防災の原点に立ち、平常時から被害の軽減を図るための措置や食料の備蓄等を自発的に行わなければならないことを理解してもらうため、町をはじめ関係機関が行う防災対策には限界があることを示すとともに、地域の防災情報の提供や防災知識の普及を図り、住民の防災意識の高揚を図ることをしています。 この文章わかりづらい。 2行目 立ち、常日頃から・・・に行わなければならないことを理解してもらうことを目指します。そのために、次の3つの項目に力を入れてまいります。 1. 町をはじめ関係機関が行う防災対策には、特に災害発生時などには限界があることを理解してもらう。 2. 地域の防災情報の提供や防災知識の普及を図る。 3. これらのことにより住民の防災意識の一層の高揚を図る。	23	住民生活 防災力	●所要の文言等をよりわかりやすく変更します	変更

(4) 人口ビジョン「5. 人口の将来展望」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
12	<p>■自然減については、合計特殊出生率が全国や大阪府を下回りつつ減少が続いており、近年は全国でもワースト10位以内に入るほど低い状態が続いています。 ワースト10位以内→要訂正</p>	33	自然減の要因分析と課題整理	<p>●本町の特徴的な現状を知っていただくため、敢えて「ワースト」という表現を用いています。</p>	変更なし
13	<p>ここで「合計特殊出生率」を使うなら、下のグラフの左下「総数」はおかしい。 当然「合計特殊出生率」となるべきで、まして率の総数とは何を示す語か？ 下の式はおかしい。 合計特殊出生率＝(結婚した女性の数／女性の数)×(生まれた子供の数／結婚した女性の数)＋同＋・・・＋同</p> <p>右辺左の掛け算の式 左の分数の分子左右の分数の分母は同一数なので、これを約分すると、分数の掛け算式の部分は 生まれた子供の数／女性の数 ということになる。これに(15～19歳の女性の出生率)という名をあたえているが、これは女性の出生率の誤りである。 しかし、この式から得られる数字は15歳～49歳の全女性が出生した全新生児の数を15歳～49歳の全女性の数で割った数と同値となるように思う。すなわち得られる値は出生可能な女性を対象とした当該年度の新生児の出生率に外ならないように思う。 年齢層別にみた出生率の違いはそれで意味を持つと思う。しかし、それを全国の値と比較して何の意味があるのか。わが豊能町は大阪市をはじめとする阪神間のベッドタウンの位置づけが可能だと思う。したがって年齢層別の出生率も、この社会的地域の特色を表しているものと理解できる。この社会的な地理的特性を変えることは30～50年単位の時間でも難しい。したがって、比較するなら、全国の率ではなく、同じような社会地理的環境にある他の市町村のそれと比較すべきであり、そうすることによって、はじめて、若長の特徴が分かり、改善すべき点が判明するはずである。全国の出生率との比較は無意味である。</p>	33	自然減の要因分析と課題整理	<p>●よりわかりやく所要の文言等を修正します。 ●合計特殊出生率は、15～49歳の各5歳階級別の女性の出生率を合計した数値であり、人口構成の偏りの影響を受けず、全国や他自治体との比較・評価が可能な指標です。今回は、豊能町の相対的な位置づけを把握するため、全国値との比較を行いました。</p>	変更

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
14	<p>(3) 人口の転出・転入等の要因分析について 転出・転入者についてのアンケートはあるが、その要因分析の一助として町の全職員についてのアンケート調査の実施をすべきだと思う。</p> <p>①町域圏外に居住している職員についての調査 ・豊能町内へ移転する計画の有無 ・豊能町内へ移転出来ない理由 ・豊能町外に居住していて豊能町住民の民意を把握する方策を考えているか?</p> <p>②町域圏内に居住する職員についての調査 ・町内に永住する考えはあるのか? ・永住する為にはどのような施策が必要と考えるか? ・住民の民意をどのようにして把握しているか</p> <p>③豊能町の全職員についての子供の人数調査 ・子供は何人いるか? ・将来の出産計画はあるか(何人を希望するか)? ・出産の為に必要と思われる施策は?</p>	33 ~ 46	自然減の要因分析 と課題整理	●貴重なご意見として承ります。	変更 なし
15	<p>グラフ【有配偶出生率の推移】の直下の文章 ■このことから、結婚をきっかけとした20~30歳代の転出が多いことが、該当年齢層の有配偶率を押し下げていると考えられます。これには当然の理由があるように思われ、当豊能町の特別な現象とも思えない。</p> <p>誕生から結婚までは、親と同居する場合は多いのは一般的。結婚を機に世帯を独立するのに、豊能町に特段縛られる理由がない場合が多い。むろん豊能町に住むほうが不利になりこのほうが多いと想像される。</p> <p>特に結婚する女性の場合は、ほぼ全員が親元を離れる。このような事情があるにもかかわらず、結婚を機に転出するものが多いことをさも当町の特徴のように考えるのは間違いである。</p>	35	自然減の要因分析 と課題整理 有配偶出生率の状況	●20~30歳代の転出超過(転出者が転入者を上回る状態)が、町内の有配偶者率を引き下げ、合計特殊出生率を引き下げている状況を整理しています。	変更 なし
16	<p>【出生順位別出生数(2009(平成21)年~2013(平成25)年平均)】 出生順位別出生数の意味がよくわからない。未就学児童が2人いる場合はどうなる?同一のその家庭が第1子と第2子とで double count されるのでは?</p>	36	自然減の要因分析 と課題整理 子どものいる世帯の状況	●「出生順位別出生数」とは、出生した子どもの出生順位別(第1子、第2子、第3子、第4子以上別)の人数を表しています。	変更 なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
17	<p>■未就学児童保護者の子育て支援サービスへ要望をみると下のグラフ【未就学児童保護者の子育て支援サービスへ要望(複数回答)】で、第3位を取り上げるが、第1位の医療の充実を飛ばすのはいかがなものか。</p> <p>「一番要望の強いものは医療の充実であるが、」などを加えるべきである。</p> <p>経済的援助の要望が強いのは、経済的に裕福ではないことの表れである。そのことも加えること。</p>	37	自然減の要因分析と課題整理 子どものいる世帯の状況	<p>●所要の文言を追記します。</p> <p>●本資料をもって”経済的に裕福でない”ことを導き出すことは困難です。</p>	変更
18	<p>④アンケートで「公園などの屋外の施設を整備する」が62.7%と非常に多くなっているが、吉川 小学校では「公園でのボール投げは禁止」という校長からの指示が出されている。</p> <p>・吉川中学校野球部が準硬式で練習中の打球が周辺民家の屋根瓦の一部破損事故を起こしたため、準硬式球の使用を禁止し軟式球に変更した。</p> <p>「註」:生徒・児童の体力テスト結果では豊能町の体力レベルが低下してきているのではないか?</p>	37	自然減の要因分析と課題整理 子どものいる世帯の状況	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
19	<p>5行目</p> <p>一方、子どもがいる世帯については、世帯あたりの子どもの数が大阪府内でも多い傾向にあります。しかし、<u>子どものいる世帯では、子育て・教育環境に(「に」を挿入)より世帯収入が出生に与える影響が大きく、かつ、経済的援助の拡充へのニーズ</u>が高くなっているため、出産・子育ての支出に対する支援の充実が、出生数の増加に向けて必要となっています。</p> <p>必ずしもアンダーラインの原因のために出産数が減少しているわけではないと考えられる。そして出産率を上げるためだけに、単に出産時の費用を補てんすることは、それ以後の養育費もろもろが家庭会計を圧迫し、かえって当該家庭の経済状態を悪化させることもありうることを考慮する必要がある(出生率を単に上げるだけの補助制度ではなく、新生児が成人するまでの援助を考える必要がある)。</p>	38	自然減の要因分析と課題整理 まとめ	●本項目は p36~37 の内容から整理したものです。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
20	⑥アンケートでは「通勤・通学など便利さ」が転出者の主要な第一要件になっている、「豊能町地域公共交通基本構想」なるものが策定されているが、それによって乗客数が増加しているのか、その要因分析の為に次のアンケート調査を実施して欲しい。 ・町の全職員と非常勤職員について、パスを利用しない理由を調査する ・町の全議員についてパスを利用しない理由を調査する町の職員や議員が利用することによって、乗り合い住民とのコミュニケーションの増進にも寄与できるのでは？	40	社会減の要因分析 と課題整理 転出の状況	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
21	⑦議会でも課題として取り上げられたが能勢電鉄等の通学定期の割引率が通勤定期の割引率よりも少なく、高校・大学生の家庭では負担が多く転出が増加することになっているのでは？ また、能勢電鉄による梅田直行便がないことも等も利便性の評価を著しく低下させているのでは？	40	社会減の要因分析 と課題整理 転出の状況	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
22	・これからも豊能町に住み続けたいか(年齢階層別)(2009年)(P41) 「註」：アンケート実施してから相当な年月を経過しているので、再度補完調査を実施すべきではないか(過去には10年前のアンケート調査結果に対する対応を計画したものもあったが?)	41	社会減の要因分析 と課題整理 住民の転出意向	●策定過程において入手できる最新のデータを利用しています。 ●総合戦略の推進過程において、必要に応じ、最新データの活用やさらなる調査を実施します。	変更なし
23	■転入者のうち、親や子どもと同居・近居する人(転入のきっかけとして「親や子どもとの同居」、もしくは、転入先として豊能町を決めた理由として「親や子どもとの同居」か「親や子どもの近くに住む」を選んだ転入者)は53.3%を占めています。一方、親や子どもと同居・近居しない人は46.7%となっています。「親や子どもとの同居」・「親や子どもの近くに住む」：53.3%親や子どもと同居・近居しない人：46.7%両者間の有意差は認めがたい。「このことから、転入者の半分は、町内もしくは近隣地域に近親者がおり、近親者との同居・近居が町内への転入の最大の要因となっていることがわかります。」このように結論することができると思えない。	43	社会減の要因分析 と課題整理 転入の状況	●本ページ内の「転入先を豊能町に決めた理由」をみると、「親や子どもとの同居」が最も多くなっており、親や子どもとの近居も3番目の多いことから、「親や子どもとの同居・近居」が転入の最大の要因となっています。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
24	<p>■転入者アンケート結果から、Iターンの状況を整理すると、以下の様になります。</p> <p>「転入先を豊能町に決めた理由は、Iターンは「自然環境」が41.5%で最も多く」</p> <p>→親や子供の近くへの転入、また職場関係などののをのぞくと（すなわち、豊能町を選ぶ特段の理由がない人が選ぶ）転入理由の第1は「自然環境」であるといえます。</p>	44	社会減の要因分析 と課題整理 転入の状況	●「自然環境」については本ページ最終段に記載のとおりです。	変更なし
25	<p>■このことから、転入者は「仕事の都合」や・・・</p> <p>また、Iターンについては、転入のきっかけで「住宅の都合」が2番目に入り、転入先を豊能町に決めた理由の上位に「土地や住宅の広さ・設備」と「土地や住宅の価格・家賃」が入っていることから、「住まい」が転入に影響していることがわかります。</p> <p>→「転入者の多くが、転入先を豊能町に決めた理由として「自然環境」を上位に挙げており、「自然」が転入促進の大きな鍵となることもうかがえます。」</p> <p>は間違いで、「理由第1位は自然環境の良さである。」と記述すべきである。</p>	44	社会減の要因分析 と課題整理 転入の状況		変更なし
26	<p>■このことから、豊能町では借家(賃貸住宅)が極端に少なく、持ち家(分譲住宅)についても延べ面積が広いことから、特に、若年層の世帯にとって手ごろな住宅が豊能町に少ないことがうかがえます。また、住民の住宅・宅地の拡大へのニーズも高くなっています。</p> <p>結論は住宅開発をすべしである。しかしこの結論は間違っている。</p> <p>市街地の中で空いている土地を住宅地として積極的に活用してほしい：28.8%</p> <p>市街地の拡大を行い、積極的に宅地を増やしてほしい：3.5%</p> <p>⇒開発賛成 32.3%</p> <p>住宅地が無秩序に拡大しないよう冷厳しく規制してほしい15.9%</p> <p>市街地に隣接した土地において、自然環境に配慮しながら新たに住宅地を拡大してほしい：25.2%</p> <p>今のままでよい 20.4%</p> <p>⇒開発反対 61.5%</p> <p>P45 下段の結論は間違っている。</p>	45	社会減の要因分析 と課題整理 住まいの状況	●本資料をもって開発の賛否を整理することは困難ですが、所要の文言等を変更します。 ●住まいの状況に対する対応策としては次ページに社会減の要因分析とともに「住宅の多様化と流通の促進」を記載しています。	変更

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
27	<p>まとめ■転出者の多くは、・・・「住まい」が転出に影響していることがわかります。表現が間違っている。転出には「職場との関係」と「結婚を機に」が関係しているので、あって、「住まい」が影響している程度はわずかである。転出の最大の原因は医療介護など、shopping などの生活の利便性である。それに対して、転入してくる人は環境の良さに注目している。まず当町の人口減を食い止めるためにすべきことは、</p> <p>考慮すべき事</p> <p>No. 1：これからは国の地方税分配分も少なくなるし、徴税の収入も少なくなる。わが町も将来にわたり、潤沢な財政は望めない。</p> <p>No. 2：現在、このような、近い将来消滅の危険性が大きい地方公共団体が、わが国には無数にある。</p> <p>No. 3：わが国の全人口は減少傾向にあり、流動可能な人口はそう大きな個体数ではない。その限られたパイを全国の自治体が奪い合うという構図である。</p> <p>No. 4：この争奪戦に打ち勝つには、わが町は他の市町村を凌駕する優良な資質を持つ必要があり、それを世間に提示して、流動可能な市民（ここでいう市民とは地方当然のことながら、公共団体の一つである市に属する民のことではなく、一般市民のことを指す）を勧誘・獲得する必要がある。</p> <p>☆低成長時代にあって、現政権の言う一億総活躍による経済の右肩あがりは期待できない。</p> <p>☆税収の落ち込みによって、政府は最も取りはぐれない消費税率のUPをもくろむであろう。</p> <p>☆ますます貧富の2極化が進み、医療費・介護費の増大によって、町財政は悪化の傾向を強めて、やがて財政破綻が見えてくる。わが町には医療・芸術文化・アーバン施設・著名観光施設・著名企業あるいは一流大企業の支社・工場など一切ない。</p> <p>以上のような要件に合うわが町唯一の資産は「自然」しかないと結論される。</p> <p>◎自然をどのように資産価値の高いものにするか、これがわが町を消滅させない唯一の方策である。</p> <p>現在のわが国の社会性は健全性を失っている。</p> <p>理由1：社会性動物の一種である人間が正常な社会性から君主離している。隣に住んでいる人も知らないし、親子3代での生活も放棄している。婚姻習慣も崩壊しそうである。</p>	46	社会減の要因分析と課題整理まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●「住まい」と転出への影響については「近隣地域への転出者」の現状について述べています。 ●「自然環境」は転入促進の大きな鍵であり、対応策としてシティプロモーション等を挙げております 	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	<p>理由2：親子関係も異常になっている。わが子に対する虐待は正常な社会性の下では起こらない。(一般に社会の中の仔はその社会の成体(人間では成人)によって攻撃されないような仕組み(かわいく見える)になっている)</p> <p>社会の異常性は自然環境からの離脱にもその原因がある可能性がある。現生人類の出現から現在まで、人類は緑豊かな森林やその縁辺で生活し、非自然的な人工物に固まって生活し始めたのは50年ほど前から、すなわち現生人類の歴史の上では、ほんの一瞬の出来事である。異常な精神状態をきたした個体が生まれでもおかしくはない。</p> <p>幸い、当町には未だ緑豊かな森林地域が多く残存する。我々はこれを財産とすべきで、これを利用して、都会生活で病んだ精神に憩いをもたらす、まともな環境を提供することを第1の目的として本町の人口問題の核心的手段とすべきである。</p> <p>これを中心に、「当町の自然派どうあるべきか」、「来町した人々にはどのようにたいおうすべきか」、人(心)・物(健康)・その他のシステムを考えるしか、道はないように思う。</p> <p>但し、「当町の自然は良好か」と問われれば、「否」と答えずにはおれない。今を去ること50年も前に、虫取りに通った筆者にとって、あのころの能勢と現在の状態とはあまりにも違いすぎる。細かいことを書くと、きりがないので、その事情は省略する。しかし、まだやり直しは利くように思う。</p> <p>「自然再生推進法」という法律があり、これを利用した「自然再生事業」により、能勢の自然を元に戻す事業を考えたい。これが私の豊能町再生計画である。まず町民が自然とは何か? 自然保護とは何か? ということをも身をもって知ることから始めよう。</p>				

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
28	<p>○アンケート調査は、アンケート法(全数調査かサンプル調査か・サプリングシステムは等)、対象者数、回答者数等の実数を明記すべきではないか。(比率は図表で表示すればよい)また、同一調査と思われる(対象者数が同一)もので単数回答と複数回答があるがどのような方法で分類したのか明確な説明が必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転出のきっかけ(全体・単身転出者、単数回答) (P35) (P39) ・転出先で重視する条件(全体・単身転出者、複数回答) (P40) ・転出のきっかけ(全・近畿地域。単数回答、転出先で重視する条件(複数回答) (P40) ・転入のきっかけ(全体・単身転出者・中学生以下の子どもがいる世帯、単数回答) (P42) ・転入先を豊能町に決めた理由(全体・中学生以下の子どもがいる世帯、複数回答) (P43) ・転入のきっかけ(全体・Iターン、Uターン、単数回答)、転入先を豊能町に決めた理由(全体・Iターン、Uターン、複数回答) (P44) <p>○アンケート調査は同じ方法で同じ対象者に複数年調査を繰り返した場合でも回答は異なる場合があるので、その検証的な補完調査を実施する必要があるのではないか。</p> <p>「註」：複数年に実施したアンケート調査の結果を合算して提示しているものがあるが、社会的情勢に左右されることもあるので、各年度の調査結果を表示すべきではないか?</p> <p>「註」：転出、転入者のアンケートは2012年8月から2014年3月までの平均で示されているが、人口増減のところでは、自然増減、社会増減、人口増減及び転入者数、転出者数、転入超過数については各年で2013年まで記載されている。(この増減表は年度単位ではない)</p>	35 ～ 44	人口の将来展望	<p>●当該アンケート調査は転出・転入時における意識・状況を把握することを目的に、窓口において実施したものです。集計、分析はこれらの全体的な傾向を把握するため、全期間を通じたデータを用いています。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
29	<p>(2) 人口等の将来展望について</p> <p>○豊能町の人口の推移については、国勢調査を基準にして「社人研」方式に基づいた推定をしているようであるが、その方式が豊能町の実態とどの程度マッチしているかの検証が明記されていない。</p> <p>・現状からみて、日本全体の人口減少が続いており特に山間地方自治体の人口減少が大きいことは理解しているが、「社人研」方式で将来展望をする為には、豊能町の実態をどの程度反映しているのかの検証が欠かせないと思う。</p> <p>・豊能町の人口は、国勢調査と町の人口統計で人数が違っているので、豊能町の人口統計に基づいて過年度の推定値と実績値を比較してそのバラツキの程度を示すべきだと思う。</p> <p>「註」：「総人口の推計の結果」「高齢化率の推移」(P49)にあるように「社人研」と独自推計に乖離があることは示されているが、過去の実績での乖離の程度について説明されていない。</p> <p>○「第4次総計」と今回の「ビジョン」の人口の将来展望の数値が違っているようだが、この説明は？</p>	48 ～ 49	人口の将来展望	<p>●国の『「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について』では、市町村が人口ビジョン等を策定する際、社人研の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」等国から提供するデータとワークシートを活用する旨が記載されており、本町でも同ワークシートを活用して人口推計を行っています</p>	変更なし
30	<p>○人口の将来展望では、合計特殊出生率(TFR)が全国並みの1.40になる時期を想定した推計をしているが、2020年にTFR 1.40を達成する為の手法があるのか。達成する手段がないのであれば無駄な作業ではないか？</p>	48 ～ 49	人口の将来展望	<p>●総合戦略において、「人口の将来展望」のうち、より高い人口推計値を実現するための今後5年間の基本目標・基本的方向、具体的施策をまとめております。</p>	変更なし

(5) 人口ビジョン全体・その他について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
31	<p>○他の地域との比較したものがあがるが、比較対象地域の選び方がテーマによって違う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率ランキング(2010年)(P9) ・年齢階層別・転出先別の人数・割合(2012~2014年)の合計(P12) ・年齢階層別・転入先別の人数・割合(2012~2014年)の合計(P13) ・自市区町村での従業者と他市区町村での従業者の割合(2010年)(P15) ・市町村別流出人口(2010年)(P15) ・民間事業所1事業所当たり従業員数(2012年)(P18) ・近隣市町の空き家状況(2013年)(P29) ・住宅の所有の関係(専用住宅に占める割合)(2013年)、住宅状況(2013年)(P45) 	全体	比較対象地域の設定について	<p>●比較対象地域を合わせることができるデータについては、そのように修正します。</p>	変更
32	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的資料であるならば、人口減少の要因分析、豊能町の生活環境、教育環境等についての現状の把握と課題の抽出・改善策の実施状況等についてのPDCAによる分析、評価結果等が明確に示されることを望む。 ・豊能町の固有の資源や環境条件等を抽出し、他の自治体等に優越することが可能な対策の立案に資するべきものとするが? ・シンクタンクは、他地域の成功事例や、地域を特化するための諸施策等に十分精通している筈であり、それらを分類整理・検証し、豊能町の特性を活かすための方策を提案して欲しい。 	全体	具体的な対応策について	<p>●人口ビジョンで提示した課題への対応策は総合戦略(P10~20)において記載しています。取組の評価・検証については総合戦略P3に記載のとおりです。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
33	<p>○本件で使用されているデータの取扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画は、平成 28 年 1 月の発表であるが、本件で取り扱っているデータは殆ど平成 22 年度までであり、平成 26 年度までの実績が全く利用されていない。特に、町の財政関係資料も平成 25 年度までの実績しか利用されていない。 ・平成 21 年度のアンケート調査を利用したものもある。 <p>○データの取扱いについて</p> <p>「豊能町人口ビジョン(案)」(以下(ビジョン))には各種の調査データが利用されているが、そのデータの取扱いは論理的かつ慎重、丁寧にして欲しい。</p> <p>○殆どのデータが 2010 年度までの実績を利用し 2015 年度は推定としているが、豊能町のデータは 2015 年実績まで利用できなかったのは?</p> <p>「註」：同時にパブ・コメに出されている「第 3 次豊能町地域福祉計画等」については、平成 27 年 9 月時点までのデータが記載されているにも関わらず、この「ビジョン」の殆どが 2010 年(平成 22 年度)までとなっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊能町の総人口の推移と今後の見通し(P2) ・1980 年を基準にした場合の人口の推移(P2) ・年齢 3 区分別人口の推移、年齢 3 区分別人口割合の推移(P3) ・東地区の年齢 3 区分別人口の推移、東地区の年齢 3 区分別人口割合の推移(P5) ・西地区の年齢 3 区分別人口の推移、西地区の年齢 3 区分別人口割合の推移(p6) ・流出・流入人口及び昼夜間人口比率の推移(P14) ・就業者数と生産年齢人口の推移(P16) ・65 歳以上の就業者数の推移、農家数・農家人口等の推移(P25) ・2006 年を 100 とした場合の能勢電鉄利用者の推移(P27) <p>○豊能町統計で記載しているものもあるが、その実績は何故か 2013 年度まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然増減と社会増減の推移(P7) ・1985 年から 2013 年までの自然増減と社会増減の影響(P8) ・出生数と死亡数の推移、合計特殊出生率の推移(P9) ・転出者数と転入者数の推移(P10) ・町の収入の推移(P30)、町の支出(経常行政コスト)の推移(P31) 	全体	データ出典について	<ul style="list-style-type: none"> ●策定過程において入手できる最新のデータを利用しています。ただし、人口推計については、国が示す推計手法では国勢調査結果を利用することとなっているため、直近の国勢調査結果として平成 22 年(2010 年)のデータを利用しています。 ●総合戦略の推進過程において、必要に応じ、最新データの活用やさらなる調査を実施します。 	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
34	(5) 住民意見の聴取について ○「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」のメンバーは著名な方々で構成されているが、これから町に住み活力あるまちづくりに参加・協働・貢献してくれる若者の意見を聴くようにしてほしい。	その他	策定体制	●審議会には、町内で活動する若手の事業者の方にも参加いただいておりますが、総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
35	○新世代の企業家・転入希望者はどのような環境ニーズ(生活・社会・自然・福祉・介護等)を持っているのかを見定めていくべきでは?	その他	策定体制	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
36	○「第4次豊能町総合計画」では、“町職員は規範意識を持ち、積極的に地域に出向き、住民から信頼される質の高い職員が職務を担う”旨の目標が掲げられているが、一度も地域に出向き住民意見聴取(意見交換会等)を実施されたことが無い。 住民等との協働の為に意見交換会を開催し、相互理解、納得のもとに推進できるよう連携強化に努めて欲しい。 「註」： 以前は第4次豊能町総合計画やごみ有料化計画の策定前に一般説明会を、また、各自治会での意見交換会を不十分ながらも実施しある程度の意見交換がなされていたように思うが?	その他	策定体制	●総合戦略は地域が主役となって取り組みを進める必要があるため、アクションプランを中心に協働を推進するための基盤・環境を整えます。	変更なし
37	(6) 「ビジョン」の位置づけについて 「ビジョン」は国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨を踏まえ、豊能町における人口動向やその影響を分析・検証するとともに、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示すもの」と記載されているが、町が抱える課題(現状で住民等から提出されている疑問、意見、提案等)も含めて対策を考えて欲しい。	その他	策定体制	●本ビジョンは客観的なデータによる分析や既存の施策課題等を整理し、審議会では住民を代表する委員から意見・提案などを頂きながら、策定していますが、総合戦略の推進に関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
38	○豊能町でも中学校の給食が始まったが、生徒達の評判は非常に悪い。 ・各中学校で毎日の完食率、残飯量などの調査や生徒達の希望調査等実施すべきではないか?	その他	—	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
39	<p>(4) 豊能町の実績についての分析・評価について</p> <p>○豊能町では各種の計画等を「パブ・コメ」にかけて決定しているが、その実績を分析・評価したものは全くないように思う。</p> <p>・「第4次豊能町総合計画」には5年後の中間目標が設定されているが、そのPDCAによる分析・評価は何時発表されるのか。また、「ピジョン」策定と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に伴ってどのように変化するのか?</p> <p>○町の各種施策でPDCAを回して改善できたものは何件あるのか。その実績を件名と実施年度及びその効果を公表して欲しい。</p>	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ●総合戦略は第4次総合計画及びその他個別の計画と整合するものとして策定しています ●総合計画及び個別の計画の状況等については各計画によるものとなります 	変更なし

1) 総合戦略 分類別意見一覧

(1) 総合戦略「1. はじめに」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
1	○本件は「戦略」としているが、「戦略」に多数の項目とそのKPIが制定されているが、焦点がぼやけて「戦術」として効果的な施策の構築ができないのではないか。もっと重要度分析・効果分析等で焦点を絞るべきではないか？	2	総合戦略の位置付け	●総合戦略では、4つの基本目標を設定し、具体的な施策をまとめていますが、特に重点的に取り組む必要がある施策については、対応するアクションプランを策定して取り組んでまいります。（総合戦略P2の「2）総合戦略の位置づけ」参照）	変更なし
2	（1）総合戦略の位置づけについて ○“本戦略は、「第4次総計」を最上位計画とし、その基本的な方針に沿いながら”と記載されているが、「第4次総計」の実績についてPDCAが回っていないのではないか。 PDCAを回した結果の分析・評価とその効果判定結果を表示して、本件に引用すべきではないか？	2	総合戦略の位置付け	●総合戦略は第4次総合計画及びその他個別の計画と整合するものとして策定しています。 ●総合計画及び個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。	変更なし
3	○“豊能町総合戦略(以下「総合戦略」)でまとめた施策のなかでも、重点的に取り組む必要がある施策については、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン」(以下「アクションプラン」)を策定し、事業スキームや推進体制、効果検証・改善に向けた目標値等の詳細を整理する”とあるが、「アクションプラン」は何時までに策定し、何時から実行するのかその期間を明示して欲しい。 「註」:「総合戦略」の目標年度が平成31年度となっており、その時点まで「アクションプラン」のPDCAが回せる。実施状況と成果の分析等が明確に示されるものとして欲しい。	2	総合戦略の位置付け	●現在策定中のアクションプランについては答申時に総合戦略に添付する予定です。	変更なし
4	3) 総合戦略の期間 「豊能町総合戦略の計画期間は、2015(平成27)年度から2019(平成31)年度までの5年間とします。」 計画期間ではなく、実施期間では？ 実施期間なら、計画を立てている間の2015年度は実施することなく過ぎ去つたことになる。本来なら、前回の総合戦略(たぶんそのようなものがあつたと思う)の少なくとも最終年度(2014年度)に、次の5年間の計画を立てるべきだったのでは？	2	総合戦略の期間	●総合戦略については平成26年12月の国の通知等により、市町村は平成27年度～平成31年度の5年間を計画期間として平成27年度末までに策定することとされており、本町においても同様に期間を定めています。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	今頃パブリックコメントを求めるようでは、本来の実施期間である5年間の1/5を無駄にしたことになるのでは？				
5	○豊能町の現状（住民から出された苦情・意見・提案等）を十分に分析するとともに、過去の諸施策についてPDCAを回し、住民参加・協働のできる施策となる戦略を作り上げて欲しい。	3	総合戦略の推進・検証	●本ビジョンは客観的なデータによる分析や既存の施策課題等を整理し、審議会では住民を代表する委員から意見・提案などを頂きながら、策定していますが、総合戦略の推進に関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
6	○「総合戦略」では、“検証可能な指標として、基本目標レベルに数値目標、具体的な施策レベルに重要な業績評価指標（KPI）を設定し”“推進に当たってはPDCAサイクルに基づいて施策の検証・改善を進める”とあるが、KPI設定の論理的根拠が示されていない。 ・PDCAサイクルに基づいて施策の検証・改善というが「第4次総計」には、中間目標としてH27年度の目標値を設定しているので、当然実績についてのPDCAサイクルに基づく検証・評価の結果が公表されるものと思う、何時公表されるのか？ 「註」：過去において一度もPDCAによる実績評価・改善実績等について公表されたものがないように思うが？	3	総合戦略の推進・検証	●総合戦略における各数値目標は、基本目標とその内容、関連する取り組み内容を勘案して定めています。 ●総合計画及び個別の計画の状況については各計画によるものとなります。	変更なし
7	○“「アクションプラン」を推進するにあたっては、行政はもとより、地域住民や事業者など多様な主体による連携・協働とともに、他自治体との広域的な連携に基づいて、関連する施策・事業を展開する”旨記載されているが、住民への説明会は何時開催し何時までに協働体制を確立するのか、その目標年月を明確にして欲しい。	3	総合戦略の推進・検証	●総合戦略は地域が主役となって取り組みを進める必要があるため、アクションプランを中心に協働を推進するための基盤・環境を整えます。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
8	<p>2. 各項目における意見（アンダーライン部が追加希望項目）</p> <p>1. 1) 総合戦略策定の背景・主旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方の弱体化：<u>更に地方文化・生活の破綻もあり得ます。</u> ・競争力：<u>国際的な競争力が弱まり国力の衰退へと陥ります。このことは地方交付税の更なる減少により、自治体の維持活動をも脅かし不全状態から破綻へと結びつきかねません。（住民に危機感をもってもらう）</u> <p>豊能町では、・・・</p> <p>「厳しく困難な未来」を変えるために 具体的に記が必要では？</p> <p>Ex. 府下で破綻が予想されるワースト2？保険・ゴミ収集などの既存の住民が受けているサービスの低下・廃止など数多くが考えられます。</p> <p>【参考】：自治会役員の重役経験者においても認識がない。自治会の存亡時に直面しても町があるので心配ないと思っている）</p> <p><u>地方の弱体化を待つことなく弱小自治体が手の届く実施可能な施策・活動を構築するため、早急に現状把握・調査(国・府・他府県を含む)を立案し実行に移す必要があります。</u></p> <p><u>当然ながら、国の基本方針から大きく逸脱することなく、豊能町の持つ貴重な資産を十二分に活用し国・府の具体的な施作指針に先行して大阪府随一の対策を策定し他自治体のモデルになるレベルをめざす。</u></p> <p>【参考】：町の意気込み・住民への協力要請を熱く伝えることが、大事に思えます。貴重な資産(人・自然・教育環境など 発掘・見直し)</p>	3	総合戦略の推進・検証	<p>●審議会では、不確定な”未来の厳しさ”を行政として示すことの困難さがあるなかで、より地域の方々に状況を知っていただくための表記が必要であることから、そのすでに課題となっていることも含め、バランスをとりながら、P6「厳しく困難な未来のイメージ」として記載しており、現記載の表現とします。</p>	変更なし
9	<p>総合戦略の期間5年(中期戦略ですね?)</p> <p>工程表が必要では?</p> <p>現時点では取組項目が多くなおかつ具体的まで落とし込んでいないのは当然だが、どこで絞り込むかのチェックポイントを設けないと工数不足で中途半端になると予想される。</p>	3	総合戦略の推進・検証	<p>●総合戦略の推進については、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」において、関連する施策の検証・改善などの進捗管理を進めます。</p> <p>また、総合戦略の中でも重点的に取り組む必要がある施策については、対応するアクションプランを策定して、事業スキーム・工程や推進体制、効果検証・改善に向けた目標値などを設定します。そして、アクションプランを推進する過程で、さらなる詳細な進捗状況の確認を進めて参ります。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
10	<p>私は、「第4次豊能町総合計画（案）」に対する意見として、「①子育て・教育が充実したまち、②高齢者が元気なまち」をめざして集中がなされるようお願いしました。その観点から意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. はじめに</p> <p>物事を進めていくには町民の皆さんとの「協働」が必要だと思います。「第4次豊能町総合計画」では、第3部基本計画の第1章「住民と行政との信頼・協働によるまちづくり」で「住民の参加と協働によるまちづくりを保障するための仕組みづくりを進めます。」としています。「総合戦略」ではこの点が触れていません。町民の皆さんと「協働」を進めていくことを、明らかにしておいたほうが良いと思います。</p>	3	総合戦略の推進・検証	<p>●総合戦略は行政だけではなく住民や事業者をはじめとする地域の多様な主体が一丸となって取り組みを進めていくことが必要不可欠であり、総合戦略の「総合戦略の推進・検証」（P3）や「厳しく困難な未来」を変えるために」（P7）において記載していますが、より明確になるよう、所要の文言等を修正します。</p> <p>●総合戦略は地域が主役となって取り組みを進める必要があるため、アクションプランを中心に協働を推進するための基盤・環境を整えます。</p>	
11	<p>1. コメントを提出するにあたっての本戦略の基本的な考えかたの位置づけ、住民側の置かれた立場についての認識。</p> <p>過去複数回にわたって作成されたと思われる同種の計画（あえてこう呼びます）は時代の変化に基づく豊能町を取り巻く各種の環境変化（自然～政策）及び過去の前記計画の途中経過・計画年終了後にまとめられた結果及び反省などを基本に構築されていると思います。</p> <p>当然ながら、本資料にも記述されている「少子高齢化」「財政危機」等の問題を見据えて正面から取り組み、場合によってはあえて掻い潜ってこの戦略を推し進めて結果的に成果を得るものと考えます。</p> <p>将来的には決して明るいばかりではないがそれなりの希望を残しての豊能町の存続をターゲットに限られた資産（人的・予算的）を最大限活用しての立案との認識に立ちます。</p> <p>住民も行政任せでばかりでは退歩を招きかねない、今直面している大きな波に立ち向かうことが大事であるとの切実な課題に認識に傾けていくことが必要です。</p> <p>豊能町の将来を託す本戦略を推し進めるには住民の英知・団決力を存分に結集することが必須でしょうし、そうあるべきでしょう。</p> <p>豊能町住民はそれぞれ各種団体などで他所に比べて十分すぎるほど活動をされていると認識していますが、現在は戦力として分散化されていると思われます。</p> <p>豊能町が持つポテンシャルは他自治体と比較しても劣ること</p>	3	総合戦略の推進・検証		変更

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	<p>のないレベルだと認識しています。住民全体が運命共同体的な意識を持ってもらうことが重要と考えます。</p> <p>本戦略を活用し人的能力の発掘とその結びつきにつながるより明確で分りやすく、かつ住民が手を付けやすい戦術レベルを打ち出したものに熟成できるものとして期待します。</p> <p>惜しむらくは、将来展望を実現するための種が少ないことです。物的資産が見えない。</p>				
12	<p>1. 2) 総合戦略の位置づけ(この項以降は考え方としての記述です)</p> <p>創生法についてより具体的な事例を記載しこんなことなのかと印象つけることが重要では?</p> <p>【人】ポテンシャルを持った多くの町職員の活用(前向きな佐事 ↑への取組) ↑ 施策策定は自前の頭で(部外コンサルタントに頼らない) ↓ 福祉など多彩な住民活動の組織間の融和でより効果ある ↓ 成果を導く</p> <p>【仕事】在宅勤務が広まり増える中、空家利用等を含めた仕事と ↑ 頭脳の取込 ↑ 民間福祉事業の呼びこみによる雇用の拡大 ↑ 【町】特産品(農産物・加工品等) ↑ 特徴ある事業(歴史の証拠・記念碑・伝承・・・・) ↑ 事業の種の発掘から仕事へ結びつけるシステムの構築 ↑ 『豊能町にある「種・シーズ」の発掘・発見』 ↑ ↓ ↑ 『仕事へ結び付けられるかの評価』 ↑ ↓ ↑ 『インキュベータへの取り込み』 ↑ ↓ ←←← 『評価選択』</p>	3	総合戦略の推進・検証	<p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

(2) 総合戦略「2. 基本的な考え方」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
13	最下行 世代1人で1人以上の高齢者を支えなければなりません。 →支えなければならなくなると予想されます。	4	人口の推移と見通し	●表中にある「見通し」として記載しています。	変更なし
14	【自然増減について】 「近年は全国でもワースト10位以内に入るほど低い状態が続いています。」 →最低率から数えて10位以内の低い状態が	5	人口減少の要因	●本町の特徴的な現状を知っていただくため、敢えて「ワースト」という表現を用いています。	変更なし
15	【社会増減について】 ■転出者の多くは、仕事や結婚をきっかけに転出 「住まい」が転出に影響していることが考えられます。 根拠なし：「豊能町人口ビジョン」で指摘した。 ★社会施設・公共施設・交通手段のふそくがおおきいものと思われる。 *買い物をする大型スーパーなどが複数あり、選択性を持ちうる *保育所の多様性→個々の家庭にあった保青所・幼稚園の選択の自由 *医療機関の充実 *アーバンライフに対する要求 例えば、ウインドーショッピングは不可能 町内にはまともなレストラン・料亭もない ■転入者の多くは 「転入者全体では「自然環境」が転入に影響していることが考えられます。」 表現は間違いで、 →「自然環境の良好なことが第一です。」とすべき	5	人口減少の要因	●「住まい」と転出への影響については「近隣地域への転出者」の現状について述べています。 ●「自然環境」は転入促進の大きな鍵であり、対応策としてシティプロモーション等を挙げております	変更なし
16	○人口の推移と見通しについては「ビジョン」で提出した意見の通り、データの取扱いをもっと慎重かつ丁寧にして欲しい。 ○「ビジョン」で示されている要因分析は過去のアンケート調査を主体としており現状の課題等が全く配慮されていないように思う。 ・現在までに町に寄せられた、苦情・意見・提案等を整理・分析しその中から早期に対応すべき重要課題の抽出等(PDCA)成果の挙げられるものとして欲しい。	5	人口減少の要因	●直近のアンケート結果や統計データを基にした分析から、豊能町の人口動態やその要因などを整理したうえで、審議会や分科会の意見を踏まえて、本町の課題や今後めざすべき方向を整理させていただきました。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
17	最下行 ◆社会保障負担の増大 「そのような「厳しく困難な未来」を迎えているかもしれませ ん。」 非常に適切な表現である。	6	人口減少による地域への影響	●ご理解いただきありがとうございます	変更なし
18	【人口減少・超高齢社会に対応する】 『交流人口の拡大』の具体的説明が必要 たぶん他自治体との間の交流を促進し、行き来する人数を増大させるといことだろうが、そうすると、その経済効果は町内に居住する人が町外で消費する総額よりも、流入した町外の人 が豊能町内で消費する総額が大きいことが前提である。 交流を拡大させて、果たしてそうなるかは不明。反対になる可能性は高く、そうになると経済効果はかえってマイナス。	8	今後めざすべき方向	●「交流人口」は「外部から、当該地域に訪れ（交流する）の人口」のことをいいます。所要の注釈を記載します。（用語解説の追加）	変更
19	【今後めざすべき方向性】 ●若年層が選びやすい環境をつくる その第一は仕事場の存在であることは明白である。したがって若者の職場の多量創出は重要であるが、現状では困難であることは誰しもが認識しているところである。	8	今後めざすべき方向	●自然減や社会減の抑制により達成する基本目標として記載しています。	変更なし
20	○基本目標1：若年層が選びやすい環境をつくる 具体的な施策を3つ挙げてあるが、上にも書いたように、第1に挙げるのは職場の創出であり、これに尽きる。 当町に住んで、都会へ通勤する町の政策としてこれを目指すのか？ 通勤にかかるエネルギーロスを考慮すること。 まず第一に考えることは町内の働き口の創出である。 ○基本目標2（3）子育てをしながら働きやすい環境の整備 良好な環境をもとに働き口を創成すると、母親による子育てが実践できる可能性が高い。 日本社会の現在の精神的ひずみの原因の一部には、家庭による幼い子供の養育（しつけを含む）欠落が考えられる。 職住の接近はその欠陥を補う可能性が高い。 良好な自然環境と良好な母子接触の保証を考えれば、良好な住環境の提供になろう。 ○基本目標3：地域の資源をしごととお金にかえる これが最重要。基本的にはこれだけをめざす。	9	基本目標・施策体系	●基本目標を達成するための自然減や社会減の抑制にかかる関連施策を記載しています。なお、総合戦略では、雇用創出も含む、それぞれの基本目標にむかって事業を推進し、相乗効果を図りながら人口減少の歯止めと人口減少・超高齢化社会への対応をしていくこととしています。	変更なし

(3) 総合戦略「3. 施策の展開—基本目標1 若年層が選びやすい環境をつくる」について

No	意見内容	該当	章・項目等	回答案	対応
21	○住宅の多様化と流通の促進 3階建住宅への規制緩和	10	住宅の多様化 と流通促進	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更 なし
22	○住宅の多様化と流通の促進 空き家率(KPI:8.96%現状維持)と設定されている。 ・転入者が空き家に入居するとは限らない、本来の目的は転入者の増加であり、新築 転入者が多ければ、空き家率が拡大しても良いのではないかと? 空き家流通活動拠点数(1施設増)を項目に挙げている。 ・「活動拠点を設ける」ことで事業が完成することになるのか、本来の目的は拠点の設定ではなく、空き家をどのように有効活用・入居者の増加を図るかにあるのではないかと? 「註」:空き家を希望する方々のニーズ(空き家が具備すべき要件)を抽出し、他の地域のものに比べて豊能町の空き家の方が条件的に優れていることを示せるようにして欲しい。 多様化に資する住宅に関する整備提案件数(3件累計)となっている。 ・空き家は建築の年代とその後の改修等によって耐震性、断熱性、水回り施設等が大きく変化してきているので、最近の若者のニーズに適合する為には相当の改修費がかかる場合もあるので、この場合の費用に対する補助金ということか申し出があれば町が補助金(限度額)を支出するところを明示すべきでは?	10	住宅の多様化 と流通促進	●空き家の拡大は地域の安全安心にかかる問題となることから、定住促進のためにもその防止が必要であることから、新築による転入促進のほか住宅ストックの活用、円滑な流通の促進が必要となるため、所要の取り組み等を記載しています。 ●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更 なし

No	意見内容	該当	章・項目等	回答案	対応
23	<p>○行政の役割は、現地・現況(今回は、目前に迫った新名神等の効果)を見込んだ施策が肝要です。</p> <p>ときわ台駅前近くに農地(10,000平方メートル相当)があり、初谷川と能勢電の線路との中間にある「商店街と既存の平屋住宅地区」は、既に耐用年数を超え、総じて更新の時期が来ております。</p> <p>隣接して「町の浄水場跡地」もあります。これらを総合的に捉えて活性化策を立て、民間(能勢電)の協力を得て「商業と中高層住宅の再開発(ときわ台駅のバリアフリー化を含む。)や、駅前広場の「地下駐輪場の転用等」と駅周辺の再整備を推進するのが町の役割であり、これらには「都市計画の変更」が伴うのは当然のことです。(私は、一部権利者の声を聴き、その代弁であることを申し添えます。)</p> <p>*行政が、現地に入り、汗を流さずに実を結ぶことはないのです。</p> <p>○ときわ台開発が始まって「半世紀に及ぶ時間の経過」があります。行政(今次の「総合戦略」を含む)が、リードする以外に・・新たな開発や再開発計画が動くことはないはずです。</p> <p>総合戦略が机上論に終わっている余裕はありません。具体性のある計画として、ときわ台駅周辺に「若者向き住宅 1,000戸以上の建設」を打ち出すことを進言します。</p>	10	住宅の多様化と流通促進	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
24	<p>○吉川(妙見口駅周辺)には、相当の公共用地(オイスカ貸与地を含む)があり、民間の所有地を含めた徒歩圏での開発は、都市計画・線引きの見直し無くして実現できるはずがありません。町の現況に鑑み、今回の「総合戦略」において、吉川地区の整備手法についての見落としは許されない課題であることを申し述べます。</p> <p>○吉川地区の具体策については、市街化区域への編入と同時に区画整理事業に取り組むのか、光ヶ谷地域の開発をどのようにするのか(オオタカ保全とか?その餌場のままでよいのか?)市街化調整区域のまま「集落地域整備法による土地区画整理」を進めるのか、明確な方針が必要です。</p> <p>○吉川は、清和源氏の発祥に繋がった地域であり、古地図には、「吉川温泉」の記載もあり、妙見山、高代寺、黒川の動き等、総合戦略の捉え方によっては、その方向が定まると言っても過言ではありません。*東ときわ台・吉川の各小学校の跡地活用も視界に入れるべき問題です。</p> <p>吉川小学校の後継(跡地活用)について、農林省が計画中の「林野</p>	10	住宅の多様化と流通促進	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	該当	章・項目等	回答案	対応
	<p>大学校誘致」を建言してきた経過があります。豊能町には、国立、府立の施設が全くないのですが、このような町は、大阪府下に例がないのです。早期に「誘致運動を開始」するよう求めます。</p> <p>○総合戦略には、法令適合は元より、総合性、計画性、現地性(現地に適合すること)が肝要であり、事業の計画及びその実施については、当事者たる町長(役場機能を動かす責任者)が、やる気を起こして戴く以外にないのであります。町長の職務を補助される職員に置かれても、その職責に応じての責任があることは、言うまでもありません。・・・要するに、その職責について、プロの意識と責任が問われている問題です。</p> <p>○さらに、余野川、切畑川の未改修部分についての改修(大阪府事業)促進や、役場付近の都市計画は、待ったなしの状況であると思います。</p> <p>○城山高校廃校・淀の水学園へ売却後の地域動向についても、用地取得学園の方針が見えて来ません。総合戦略(当学園については、町に及ぼす影響が大きいはずです。)をはじめ、東能勢プールの跡地、更には、余野の集落に点在する墓地の「寺院・境内墓地化」等について、適法な政策・(行政指導を含む)が全く見えて来ません。</p>				
25	<p>履正社が箕面森町に大学を建設しています。学生や職員が来るわけですが、豊能町の空家を借りて住んでもらえるように出来ないものでしょうか。若い人が増えるチャンスだと思いますが。</p>	10	住宅の多様化と流通促進	<p>●近隣地域における教育施設の開設など、新たな住宅需要に対応できるよう、住宅の多様化促進に向けた体制整備を行うこととしています。</p>	変更なし
26	<p>○空き家 半農半〇での生活を希望する子育て世帯の移住を強く願います。休耕田になってしまっている田んぼで農をし、〇の部分はそれぞれの人の才能を生かしたことで収入を得る。そういう生き方です。</p> <p>吉川に住みたい人はたくさんいます。住むところを物件として用意する。賃貸でも売買でもいいのです。</p> <p>里山の風景が好きで、移住を希望してるのだから、新しく建物を建てるのは本末転倒です。</p> <p>本気で、持ち主に向き合ってもらって頂き、持ち主の方の財産が価値のあるものとしてあり続けるために、実行していただきたいです。</p>	10	住宅の多様化と流通促進	<p>●住宅の多様化促進と空き家流通の促進により、多様なニーズを円滑に定住につなげることができるよう取り組むこととしています。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

No	意見内容	該当	章・項目等	回答案	対応
27	<p>○空家対策</p> <p>個々に事情が違うでしょうが、町が買い取ってグループホームに使う。もう一つは森町に学校ができるので、学生の下宿にする。2・3人でシェアして借りて、自炊するのも良いが、賄付きの下宿を作ってみてもいいのでは。食事を作って下さる方を募って、主婦の働き口にしてもよい。このためには、今から学校側にPRすべきだと思う。</p>	10	住宅の多様化と流通促進	<p>●「基本目標 1(1)住宅の多様化と流通の促進」において、空き家などを活用したシェアハウス等の多様化を促進する取り組みを行うこととしています。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
28	<p>○効果的なシティプロモーションの実施</p> <p>Google での「豊能町」の月間平均検索数(1,800件増)、移住促進に関するホームページ「とよのに住もう」の閲覧件数(1,615件増)が挙げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧件数が目標達成したからと云って転入者・人口が増加したことにはならないように思うが? ・この目標値はどんな根拠で設定されたのか? <p>「註」:閲覧件数ではなく、発信できる情報が転入希望者のニーズ(要求条件)に適合するか否かにかかっているため、あって、他の地域よりも優れた入居条件の整備充実が必要ではないのか?</p>	11	効果的なシティプロモーション	<p>●シティプロモーションの総合的な成果を測る指標として、豊能町への認知・関心の状況を把握するために、グーグルの検索数と移住促進に関するHPの閲覧件数をKPIに設定しています。</p>	変更なし
29	<p>○公共交通の利便性の向上</p> <p>新規バス系統の開設数(2系統)、バスや鉄道などの公共交通機関が充実していると思う住民の割合(55%)が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第4次総計」では中間目標(H27)を50%としていたが、この実績は達成されているのか? <p>「註」:現状における問題点の解明と対策を早急に実施すべきでは?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東西リレー便の利用者数が少ない原因の解明と対策はできたのか? ・ときわ台駅のパリヤフリー化は何時完成するのか(階段しかなくベビーカーや荷物の多い方、車いすや高齢者の方々にはとても不便・危険であり、何時事故が発生しても不思議ではない構造であるが、何時までに解決するのか?) ・光風台駅のエスカレーターでは、ベビーカーや車いすの方々には何の手助けにもならない、また、上り専用であり、下りがないので高齢者にも不向きであるそれを承知でエスカレーター更新を推進しているがこれでよいのか? 	11	公共交通の利便性の向上	<p>●個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。</p>	変更なし

No	意見内容	該当	章・項目等	回答案	対応
30	<p>○若年層が豊能町を選びやすい環境を整える 20～39歳の社会減-243人(H26)を0人(H31)としているが、これは「転出者-転入者=0」を意味しており、特に年齢枠をかけているので大変な努力が必要と思う。その為の生活環境等の整備充実計画を確立・推進して欲しい。</p> <p>「註」：若年層が豊能町を選ぶ環境には制度面の配慮も必要ではないか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児から中学校卒業までの医療費(入・通院費)を無料とするのは？ ・保育所・幼稚園から中学校卒業までの給食費を無料にするのは？ ・中学生以下の子育て世帯(三世代同居世帯も含む)の水道料金を〇〇%割引するのは？ 	10～11	基本目標1全体	<p>●「若年層が選びやすい環境をつくる」施策のほか、子育てやしごとづくりなど他の基本目標において推進する施策との相乗効果として、平成31年度20～39歳の社会増減0を目指します。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
31	<p>*「若年層が選びやすい環境」と言えば、住宅、プロモーション、公共交通だけではなく、基本目標2・3にも含まれますし、里山など自然環境の充実などもっと幅が広いと思います。</p> <p>* (1) (3)は基本目標2に統合したらどうでしょうか。</p> <p>*そして「基本目標1」を削除し、「基本目標2」以降を繰り上げ「基本目標4：アピール力の向上」として(2)などを計画したほうがよいと思います。</p> <p>* (1)の項に「公営住宅」の取り組みも取り入れることを望みます。</p> <p>* (3)の項に「通学交通費の補助」を入れることを望みます。</p>	10～11	基本目標1全体	<p>●基本目標は、人口減少・超高齢化社会の到来への対策の観点に基づきまとめた、今後目指すべき方向性(p8)により設定しています。各基本目標は単にそのみの目標にとどまらず、例えば「若年層が選びやすい環境をつくる」については子育てやしごとづくりなど他の基本目標において推進する施策との相乗効果により目標の達成を目指します</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

No	意見内容	該当	章・項目等	回答案	対応
32	<p>流入する若年層に明るい将来展望がみえるライフプランモデルを提供できれば。</p> <p>【参考】高齢者からはなにもなくてもいいから放っておいてくれ無駄なことはしてほしいと声が囁かれています？が自分たちは華やかで活気ある時代を謳歌したのに、希望もって流入してくる若年者へは非礼でしょう。少しでも良い状態で次世代に渡すことが本来でしょう。本件に限らず住民意識の向上が課題でしょう。</p> <p>以下のキャッチフレーズなど魅力発信とその裏付（実績）を展開する。</p> <p>【新しい世代の流入へのキャッチフレーズ 魅力ある町づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い教育レベル：実績 ・緑豊かな環境：雰囲気 ・充実し評価の高い子育て環境：これから ・人間にやさしい町づくり：実績 ・価値観の高い土地価格：実績 ・その他 <p>この項目は住民の意識は既に思い込みにより偏っています。</p> <p>要注意 豊能町は電車で梅田に行ける。（1時間以内 現状は速いとの評価）だから便利（コンビニも町内件数は？・評価基準が相違）</p>	10～ 11	基本目標1全体	<p>●町の魅力について、その根拠を十分に調査・整理するとともに、町内外への魅力の積極的な発信のために、効果的かつ戦略的なシティプロモーションに取り組みます。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

(4) 総合戦略「3. 施策の展開—基本目標2「住みたくなる」子育て環境をつくる」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
33	「地域との連携や、山と緑に固まれた豊かな自然の積極的な活用」とあるが、具体的にはどのようなことをやってきたか、またどのようなことをかんがえているのか? これまで、やったことがあるなら、それによってどのような効果が見られたのか付記すべきである。(これだけの記述では具体的な考えがあるのかどうか分からない)	12	豊能ならではの教育の付加価値の創造	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
34	子供は家庭と周囲の社会で、自然環境豊かなもとで発育してこそ、正常な精神と肉体とを備えた素晴らしい青年になる。最も基本的な子育て環境とはそういうものだという事を謳う。 医療や保育所は二次元的な条件であるとみなされる(支援事業)。最後の3行も同じ。 「放課後子ども教室の充実、地域資源を活用した学習環境づくり」 「豊能の自然環境を活用した、就学前・学校教育の検討・実施」の具体的内容と成果を知りたい。	12	豊能ならではの教育の付加価値の創造	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
35	全国学力学習状況調査の全国平均値を基準とした目標値(110~120)、子どもの為の集いの場(2ヶ所)、学校教育が充実していると思う住民の割合(70%以上)が挙げられている ・「第4次総計」では、中間目標(H27)を全て110以上と定めていたが、目標達成できなかった要因の分析結果から改善すべき点が抽出できているのかな? ・学校教育が充実していると思う住民の割合の中間目標65%は達成できたのか? ・全国学力テストの結果は、学校での教育・指導と個別塾等での勉強との総合的な効果であり、その内の学校での教育・指導の割合を分析し、今後強化すべき部門を明確にしなければPDCAが回らないと思うが? ・集いの場の設定は現有の公共施設を指定するだけで問題が解決するように思うが、これでも目標設定に5年間も努力しないと解決できない問題なのか? 「註」:教育環境の規制等の問題の解決が必要ではないかな? ・公園でのボール遊びを禁止したのは?	12	豊能ならではの教育の付加価値の創造	●つどいの「場」については、その目的に応じ、求められる機能、規模、位置づけなどが異なっており、また、他の分野においても課題となっていることから、持続可能な地域の「場」の構築・運営に向けた取り組みを進めていきます。 ●個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の野球部では公式試合球である準硬式ボール(大阪府)の使用を禁止したのは? ・中学校の給食は食育教育と云いながら残飯率が30%以上という大変憂慮すべき状況で生徒はいやいやながら何とか誤魔化しているような現状では、腹ペコで伸び伸びと喜んで勉学に励むことができるのかな? 				
36	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点(1ヶ所増)、待機児童数(0人)、保護者のための集いの場(2ヶ所)、安心して子供を産み育てやすいまちだと思う住民の割合(70%)が設定されている ・施設の新増設は公共施設の中に設置するのであれば何時でも可能ではないか? ・待機児童数については、現在の保育所・幼稚園の受け入れ能力に十分な余力があるので目標値設定の必要がないのではないか? ・幼稚園の通園パスは有料、保育所への通所にはパスもない、このような問題の改善策が必要ではないか? 	13	豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●つどいの「場」については、その目的に応じ、求められる機能、規模、位置づけなどが異なっており、また、他の分野においても課題となっていることから、持続可能な地域の「場」の構築・運営に向けた取り組みを進めていきます。 ●豊能での子育てをかなえるためのサポートとして、状況の変化にかかわらず待機児童0を維持していくこと目標としています。 ●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。 	変更なし
37	<ul style="list-style-type: none"> ④子育てをしながら働きやすい環境の整備 病児病後児保育事業(1ヶ所)、女性を対象とした創業・起業支援件数(1件)をあげている ・創業・起業支援件数が何故1件なのか、真に企業・創業を目指す方々があればいくらかでも支援すべきではないか? 	14	子育てをしながら働きやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で子育てをしながら働くことのできる環境を、地域内での創業等により整備するための指標として設定しており、目標値の設定により支援件数を制限するものではありません。 	変更なし
38	<ul style="list-style-type: none"> *「学校教育の充実」として、「少人数で行き届いた教育」を入れることを望みます。 *ユーベルホール、図書館、シートスは、豊能町の「まちの品格」を高める役割とをしていると思います。こういう施設の維持・充実を望みます。 	12 ~ 14	基本目標2全体	<ul style="list-style-type: none"> ●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。 	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
39	現状の良い面を基本に構築すべきでしょう。 小学校のサポート体勢・見守り体勢・青少年育成など全国に誇るべき活動を前面に出したうえで更に充実を図る。 自治会内のコミュニケーション(向こう3軒両隣体制の復活)を利用した近所での日々の良好な雰囲気づくりを目指す。(住民参加を方向つける)	12 ~ 14	基本目標2全体	●教育・子育てに関しては、地域、行政において様々な取り組みが行われており、教育・子育て支援の面で積極的にPRしていく必要があると考えております。所要の文言等を修正します。 ●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更
40	子育てに関してはよい環境であり、学力や生活習慣についてはかなり満足できるものだと思う、どうかそれをもっとPRして欲しい。いずれにしても、町がもっと外部の諸団体に働きかけ、協力、応援してもらって、活気のある町にして欲しい。	12 ~ 14	基本目標2全体		

(5) 総合戦略「3. 施策の展開—基本目標3地域の資源をしごととお金にかえる」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
41	基本目標3：地域の資源をしごととお金にかえる 最大の課題 この地域の特色を生かす。 何がある。 「自然」である。・・・これしかない。 農業——将来性なし：農地狭小：従事者の増加の見込みなし 林業——将来性なし：杉・檜の植林業は先行きの見込みなし ：他樹種の植林の見込み—現在のところなし 自然を資産として考える中にこれまでの農地や人工林の利用路を開く。	15	新たな観光パッケージやビジネスの創出	●町内の豊かな自然環境と歴史的資源を活用して新たな観光パッケージやビジネスの創出を行います。	変更なし
42	○新たな観光パッケージやビジネスの創造 地域資源を活用したイベント等への参加者数15,000人(5,184人増) ・イベント参加者数には、主催者側、案内側の要員(義務的参加)も加算されているように思うので、一般参加者の参加増をめざすべきでは? 観光振興等に関する地域の関係者が連携し、戦略的に事業を行う新たなテーブルの設置(1組織) ・観光パッケージでは、シイタケ栽培の体験ツアーなど各種の提案があると思うが、現在の観光ルートなどでは、トイレ、休憩所、	15	新たな観光パッケージやビジネスの創出	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	駐車場などの施設整備が遅れているように思うこれら施設の整備充実を推進して欲しい。				
43	近年人口の激増している自転車のコースに豊能町内道路が相当距離含まれています。土日には多くのサイクリストを見かけます。サイクリストのオアシスを兼ねたステーションを設置するのも有りと思います。(発生費用も少ないはず)(道の駅は運用していくには想像以上の資金・力量・覚悟が必要)	15	新たな観光パッケージやビジネスの創出	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
44	農業法人数(1法人)、認定農業者数(1人増)、特産品を使用した新規商品の開発数(3品目)を挙げている ・農業法人に委託できる農地の場所・規模・圃場の整備充実と委託等契約に関する諸条件について所有者(地権者)との調整を何時までに終了させるのか明確にしなければ法人の設立や誘致ができないのではないかと。ただ、豊能町には小規模棚田の休耕田が多いので、この特性を活かした形での法人を求めることになるのか? ・特産品利用の新規開発は多いほど良いのであって、開発支援規模を明確にして公募することを望む(能勢高校や府立大学などの学生・生徒とのコラボも効果があるのでは?)	16	次世代につながる農業の活性化	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
45	「豊能町人口ビジョン」「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を拝見しました。 もっと具体的にもっと効果的にどうすればいいのかを考えると、愛媛県今治市の「さいさいきて屋」が目指すべきモデルになるのではないかと思います。 (https://ja.wikipedia.org/wiki/さいさいきて屋) 「さいさいきて屋」は、地元農産物の大型直売所です。 規格外や少量の農産物も扱っているそうです。さらに、地元農産物で作ったカフェがあり、 また、直売所で余った農産物は全て買い取り、地元幼稚園の給食も作っています。 そして農業をやってみたいという人を募り、土地や装備の援助もし、農業指導もしているそうです。 このようなシステムを豊能町でも作れば、大型直売所設置により、多くの人が豊能町に訪れるようになり、直売所やカフェなどの併設施設で雇用も生まれる、農業を始めたい人は、援助がある	16	次世代につながる農業の活性化	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	と移住しやすくなる。 いいことだらけだと思うのですがいかがでしょう。さいさいきて屋の取り組みはテレビ大阪の「カンブリア宮殿」で見ました。				
46	<p>農業を応援。周辺で取れる野菜を区別するため、地元の特産や一コンや高山ごぼうなどは勿論だが、無農薬野菜(いちごを含む・観光農園を作るのもよい)を特化して、売り出す(長い目で見なければいけない。それと生の野菜は旬があって1年中売れないので、加工品を開発する。)</p> <p>働く人は、町内の高齢者にして下さい。どうか年寄りが終の棲家に出来るような、しかもその年寄りのもとに若い人が戻ってくるような町にして欲しい。</p>	16	次世代につながる農業の活性化	<p>●町内には、地域の特性を生かした質の高い農産品、加工品などが存在しており、基本目標3(2)次世代につながる農業の活性化において、特産品のブランド化や販路拡大に向けた取り組みの推進、観光に関する戦略的な取り組みとの連携等を行うこととしています。</p> <p>●農業については、従事者の高齢化なども大きな課題となっており、持続可能な農業に向けて、新たな人材を発掘・育成できる仕組みづくりが必要です。所要の文言等を追記します。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
47	<p>(3) 新しい地域のしごとづくりへの支援 起業：大規模は難しい…現在のわが国の経済状態は起業に不適 企業誘致：難しい…現在のわが国の経済状態は誘致に不適 町全体で、自然を資源としたビジネスを考える。 たぶん実行可能なのは小規模観光産業と、やや規模の大きな教育事業。 農業としては栗・炭 観光としては妙見山～高代寺山一帯のハイキング：森林浴 教育は地元生徒への野外実習と近隣地域〈特に都市部〉からの小中学生の自然教室 自然体験にはメニューが生命線。 何を指す。 本当に役立つ自然体験をさせねば意味がない。(現場と教室の2元授業) 結論 町内の自然は町の持つ唯一の産業資質と認識し、これを保全すること。 私の知る限りでは、町内に良好な自然はほとんど残っていない。したがって自然環境の保全・再生に全力を傾注すること。 ★自然を最大限有効に活用する方策の検討 * 行動プラン * ダメージを受けてきた自然の再生を図る。 自然再生推進法による自然再生事業を行う。 事業の主体は町民にあり * 小学生・中学生・高校生・大人・老人・母親と園児むけ事業メニューの開発</p>	17	新しい地域のしごとづくりへの支援	<p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
48	<p>創業・起業支援件数(5件)、町内への進出企業数(3企業)が挙げられている ・企業の育成・誘致の条件が示されていない、目標は件数ではなく、誘致のための条件整備にあるのではないか?</p>	17	新しい地域のしごとづくりへの支援	<p>●豊能町におけるしごとづくりとして、創業・起業、企業進出に向けた条件整備も含めた支援体制の充実及びその効果にかかる指標として支援件数や進出企業数を設定しています。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
49	<p>私は2年前に大阪市北区より吉川に転入してきました。 吉川ではまだまだよそ者ですが、だからこそ、吉川のいいところばかりが見えてきます。 それに、問題となっているものたちが宝物に見えてしょうがありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手入れのされていない竹林 ・手入れのされていない山林 ・空き家状態になっている古い家 <p>これらを使った産業を提案します。 「竹林」 竹を素材にした紙作り 吉川にある既存の建物を利用して、竹紙工房にします。(大量生産の工場ではなく手透きの工房)竹紙はものすごく風情があって、ランプシェードや襖、ブラインド、書を書くなど、、、使い方は無限です。昔、生活に必要なだった竹が今はいらなくなって、手入れされなくなった。そこをもう一度、人の生活手段、収入源として活用します。 「山林」 間伐材を利用したもの作りの工房。 発想は竹紙と同じです。間伐材を使ってガーデニングのグッズや、ダイニング用品、インテリア、、、を作る職人、アーティストの工房。</p>	17	新しい地域のしごとづくりへの支援	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重な意見として承ります。	変更なし
50	<p>町内民間事業所の従業員数(17名増)となっている ・雇用が定着する事業の誘致・創業の支援についての具体的な提案をすべきではないか? ○新規事業者には〇〇年間は〇〇税を免除する、 土地と住宅は無償貸与するなど魅力ある基盤の整備が必要ではないか?</p>	15 ～ 17	基本目標3全体	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
51	<p>地域の資源とは何かが特定されていない、当面活用可能な資源を特定してしごと・お金に換える方策を優先すべきではないか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源として企業誘致に活用できるものはなにか？ ・住民等から町興しのための仕事提案を募集し、審議会などでその実現可能性の可否を検討するという必要ではないか？ <p>「提案」</p> <p>○吉川地区に(財)オイスカがある、この(財)オイスカの事業を支援・拡充し海外からの研修者受け入れを増員する、研修事業では介護師、保健師等医療補助関係者を重点的(農業関係者の引受も含む)に拡大し、豊悠プラザ、などの特別養護老人施設などで研修指導できるようにする、将来的には定住も可能にする案は？</p> <p>○小中一貫校計画の実施を早め、試験的に吉川小学校(6学年、6学級)を吉川中学校に移転する(東能勢小学校も東能勢中学校に統合)、小学校給食を拡大して中学校も同一施設を利用すれば中学校給食の不満が解消される効果もあるのでは？(給食関係職員の雇用にもつながる)</p> <p>○吉川小学校(元)は公営の賃貸特別養護老人ホーム等に改装し、豊悠プラザ同様社会福祉法人に運営を移管する案は？(高齢者社会に不可欠の施設であり雇用が生み出される)</p> <p>○吉川小学校(元)のプールは魚介類の養殖事業、昆虫類の養殖等への有効利用法の検討は？</p> <p>○旧双葉保育所は、野菜工場を誘致し水耕栽培で連続的に野菜を栽培し学校給食等へ供給する案は？(水質管理には保健福祉センターや水道事業部局の技術者も協力できるのでは、地域住民の雇用にもつながる、また、パート勤務、高齢者でも参加可能では?)</p> <p>○東ときわ台小学校(元)(1日山城高校の施設が現存するのであればそれも含めて)は大学等と協力して野菜・花井工場、農業研修センター等とその研修者の宿泊施設に改装活用する案は？</p> <p>○農業研修者が、基礎講習終了後町内で農業に従事するのであれば農地(休耕田の活用)や住居(空き家の活用)を00年間無償で提供するのでは？</p> <p>○海外からの研修者には地域コミュニティーにも参加願い出身</p>	15 ～ 17	基本目標3全体	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	<p>国の文化についての講師(バイト代を支給)をお願いする案は？ ○家庭ごみの容プラの分別収集を廃止(可燃ごみ扱いにする)し、野菜くず、果物くず、算定くず、落ち葉を主体的に分別収集しコンポスト化、有機栽培に活用する案は？(戸知山地区等の活用、ごみの削減にもつながる) 「註」:容プラは分別収集後国CCで手分別・梱包・輸送等大変な費用をかけて送り出しているが搬出先ではコークスや燃料にするという、この為の処理費用と「容り協会」からの受け取り金(少額)では多額の赤字を生み出しているの、国崎CCで可燃ごみとして焼却し、自家発電に利用する方が遥かに合理的・経済的だと思うが？</p>				
52	<p>*「地域の資源をしごととお金にかえる」という表現は、殺伐としています。「お金、お金」のためだけの施策という感じがします。「地域の資源を活かす」ではないでしょうか。表現を変えることを望みます。 *吉川地区、高山地区だけでなく、切畑、余野、牧、木代などそこに住んでいる皆さんはその地域に誇りを持ち地域の維持発展を願っておられると思います。そのみなさんの願いに沿い、支える施策が必要ではないでしょうか。 *自然環境を守り豊能町の特徴を活かしたグリーンツーリズムを加えることを望みます。</p>	15 ～ 17	基本目標3全体	<p>●「地域の資源をしごととお金にかえる」については、町内の資源をフル活用し、単に交流人口が増加するだけでなく、経済効果を明確に生みだすことを目標とするため、敢えて「お金」という表現とさせて頂きました。 ●町内には吉川・高山地区以外にも貴重な資源があり、地域に応じて資源の活用や課題の解決が必要となります。基本目標4のコミュニティ力の維持・強化の支援と連携しながら取り組みを進めます。 ●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
53	<p>それにしても、山口納豆のようなおいしい納豆は大阪に出ているのか？地元で沈んでおらず、大阪へ押し出すような政策を取るべきだと思う。他の業種にも埋もれた事業はないのか、商工課は目を光らせているのか。何もかも町の責任だ。</p>	15 ～ 17	基本目標3全体	<p>●町内には、地域の特性を生かした質の高い農産品、加工品などが存在しており、基本目標3(2)次世代につながる農業の活性化において、特産品のブランド化や販路拡大に向けた取り組みの推進、観光に関する戦</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
54	<p>事項目の「農業」については国策への対応につなげるのは確保面積の制限から、かなりの難関かと聞いていますが、特産農作物と結びつけた加工食品を育てれば「農業」「産業」で仕事創生へと結びつく。</p> <p>【参考】農産物・加工品の情報は意外とテレビ・インターネット・それに続く口コミで広がりを見せているが、住民の認識がなく町外からの口コミがそこで終結するという事例を聞いています。もったいない限りです。</p> <p>身近なニュース・ソースがあるにもかかわらず、住民に浸透していないのはコミュニケーション力の不足です。</p>	15 ～ 17	基本目標3全体	略的な取り組みとの連携等を行うこととしています。	
55	<p>「無農薬、無化学肥料の町に」</p> <p>豊能町の自然を守り、観光資源ともするため、農薬、化学肥料を使わない農産物づくりを推進します。</p> <p>街から来て、ここで野菜を買ったとき、私は健康な野菜が食べられる!!っと、思い込んでいました。、、、ところが実は農薬だらけだったのです。</p> <p>私に限らず、街からハイキングなどに来る方々への期待に応えるため、「豊能町の農産物は無農薬、無化学肥料の健康な食べ物ですよ!」と、自信をもって売り、ブランド化します。</p> <p>人間界の利権で判断している場合じゃないんです。農薬や化学肥料の流出が原因で生態系も崩れています。人だって、病気になっています。町を上げて、地球の自然環境保護に取り組みます!</p> <p>以上です。お願いします!</p>	15 ～ 17	基本目標3全体	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

(6) 総合戦略「3. 施策の展開—基本目標4避けることができない未来にそなえる」について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
56	<p>○地域包括ケアと連携したまちづくりの推進 高齢者見守りネットワーク事業登録団体数(8団体増)、産官学連携による介護予防・健康増進事業数(1事業)、高齢者が生きがいを持ち、健康に暮らせる環境だと思ふ住民の割合(65%)があげられている</p> <p>・介護保険事業で介護予防事業について各種講座が開設されているにも関わらず、その成果の分析・評価の結果が全く示さず、新たに1事業の立ち上げが必要とする理由は何か? また、それが1事業でよいとする判定の根拠は?</p> <p>・高齢者が生きがいを持ち、健康に暮らせる環境だと思ふ住民の割合の基準がH21年度となっているが「第4次総計」の中間目標(H27)の調査を実施していないのか?</p>	18	地域包括ケアと連携したまちづくりの推進	<p>●地域包括ケアと連携したまちづくりを目的とした、新たな産官学連携の事業の構築を目標として設定しています。</p> <p>●総合計画及び個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。</p>	変更なし
57	<p>豊能町の地域特性として、</p> <p>①自然環境が豊かで、かつ、電車1時間で都心に出られるロケーション</p> <p>②住民が自主運営するスポーツ・文化サークル活動が盛ん</p> <p>③廉価で良質な戸建て空き家がある</p> <p>等が挙げられる。</p> <p>これらの地域特性を活かし人口減に歯止めをかける施策としては、地域の仕事や生涯学習などの社会活動に積極的に参加する意思を持った健康なシニア層の移住を促進するのが最適だと思います。国が進める「生涯活躍のまち」構想に沿って、下記の具体的な検討を進めることを提案します。</p> <p>1. 基本目標“アクティブシニアタウン”を構築する</p> <p>2. 短期の具体的な施策</p> <p>○空き家バンク制度の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象を新興住宅地まで拡大 ・空き家に関するデータベースの整備 ・空き家相談窓口の設置 <p>3. 長期の具体的な施策</p> <p>①現在進行中の小中一貫教育等充実検討を加速させ、小学校(4か所)と中学校(2か所)の統廃合を図り、空いた学校跡</p>	18	地域包括ケアと連携したまちづくりの推進	<p>●「基本目標1(1)住宅の多様化と流通の促進」において、空き家バンクの拡充や、基本目標4と連携した、円滑な流通に資する高齢者のニーズにあった住宅の多様化に取り組むこととしています。</p> <p>●「基本目標4(1)地域包括ケアと連携したまちづくりの推進」において、日本版CGRC適用の可能性の検討を行うこととしています。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	地に民間事業者のサービス付き高齢者向け住宅を誘致 ②その事業者は、「生涯活躍のまち」事業の運営推進を担い、豊能町及び関係者と調整して、地域交流拠点としてリニューアル化				
58	<p>1. 老人に優しい町に</p> <p>2040年には住民の大半が高齢者になるとか。それを逆手に年寄りが楽しく最後まで暮らせる、老人いっぱいを目指す。</p> <p>ホテルのような老人施設はたくさんあるが、年金暮らしのものは入居できない。年金ぐらいで入れる施設は、順番待ちだ。そこで都心から離れているので地価が安く、しかし自然環境に恵まれているこの地に、施設を誘致してはどうでしょうか。</p> <p>清潔で明るく温かみがあり、無駄（贅沢なもの、ジャグジーやレストランのような食堂やレジャー施設）を無くし、建物にかかるお金をできるだけ押さえる。そのかわり働く人のお給料をできるだけ上げてあげて欲しい。それがひいては入居者にいい結果になる。</p> <p>地方創生の国から予算ももらえるような、しっかりした計画を立て、途中で潰れてしまうことのないようにする。特養だけではなく、健康な年寄りの終の棲家となるような老人ホームを建てて欲しい。そして元気な住人（ホームの）はその職員として、又は他の介護施設の職員（お手伝いでもよい）として、働くのはどうでしょうか。</p>	18	地域包括ケアと連携したまちづくりの推進	<p>●「基本目標 1(1)住宅の多様化と流通の促進」において、空き家バンクの拡充や、基本目標 4 と連携した、円滑な流通に資する高齢者のニーズにあった住宅の多様化に取り組むこととしています。</p> <p>●「基本目標 4(1)地域包括ケアと連携したまちづくりの推進」において、日本版 GCRC 適用の可能性の検討を行うこととしています。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
59	<p>自治会加入率(90%)、自主防災組織率(100%)、地域行事・活動が活発に行われていると思う住民の割合(80%)があげられている。</p> <p>・これまでに出版されている苦情・意見・提案等を分析した結果として取り上げているのか？自治会加入率が低下しているのは、高齢者には輪番制の役員就任の負担に耐えられないこと等もあるのでは？</p> <p>・自主防災組織について「第4次総計」では、中間目標(H27)が95%となっているにも関わらず、H26年度実績は0%である。豊能町地域防災計画も制定されているが、具体的な推進法に目途をつけて欲しい</p> <p>・「第4次総計」では地域行事・活動が活発に行われていると思う住民の割合の中間目標を70%としているが、この調査をしなかったのか？</p>	19	コミュニティカの維持・強化の支援	<p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p> <p>●「自主防災組織」については、第4次総合計画の指標として掲げた組織と、本戦略で指標として掲げた組織の定義が異なります。別添 KPI 一覧に所要の文言を追記します。</p> <p>●総合計画及び個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。</p>	変更

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
60	空家が多くなっている。空き家（空家でなくてもいいが）を借りて、お年寄りが集まって、お茶を飲んだり話をしたりできるようにし、そこに学校から帰った子どもが来て、父兄が帰宅するまで勉強したり遊んだり、お年寄りから色々教えてもらったりできるようにすれば、お年寄りも元気が出るし、働く父兄にも喜ばれるのではないか。地域のコミュニケーションも良くなる。遊べる場所が近くにあるといいですね。どこかの自治体でやっていたと思います。調べてみられたら・・・	19	コミュニティ力の維持・強化の支援	<p>●総合戦略では、子どもや保護者のためのつどいの場、地域包括ケアにかかるつどいの場、コミュニティのためのつどいの場といった、様々な「場」づくりの課題があるため、限られた資源を有効に活用しながら連携し、実現することが必要であり、効果的です。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
61	<p>広域で相互利用が実現している公共施設(1施設増)、町有施設の長期的なマネジメントに係る計画の策定数(3計画増)とある。</p> <p>・相互利用を必要とする施設で、相互利用を阻害する要因は何か?</p> <p>・達成のために5年間も努力を必要とする根拠は何か? また、相互利用を促進することによる町の受ける負担・成果・効果にはどのようなものがあるのか?</p>	20	社会資本・都市機能等のマネジメント	<p>●都市機能の連携は、人口減少や少子高齢化にかかる都市機能の需要の変化を見据えつつ、公共施設については町単独では実現が困難な機能の維持確保を、共通の課題を持つ自治体とともに実現することをめざすものです。実現にあっては、それぞれの都市機能に応じ、各自治体の負担調整やメリットの共有が必要です。</p> <p>●長期的マネジメントに関する計画策定については、5年間かけて策定するというのではなく、3つの計画を平成31年までに随時策定していく予定です。</p>	変更なし
62	<p>学問的なことは分からないので、日頃思っていることを次に述べます。今回のパブコメには直接合致しないかも知れませんが率直に述べます。</p> <p>○このままではもう人口増どころか町の存続さえ危ぶむ。以前協議会もできていたが、近隣と合併しかないのではないか。</p> <p>○社会資本も蓄積されているからマイナスばかりではないと思う。</p> <p>○しかし、インフラを見ると道路は非常に悪い。(特に西地区は)幹線道路はツギハギだし、生活道路は損傷がひどい。これでは自慢できない。</p> <p>○住環境の良さを強調されるが、新光風台から光風台方面は交通量が多く、夜間暴音を発する二輪車に悩まされている。</p>	20	社会資本・都市機能等のマネジメント	<p>●総合戦略は人口減少に歯止めをかけ、人口減少・超高齢化社会へ対応し、持続可能なまちの実現を目指すための計画として策定しています。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
63	○これからも豊能町に住み続けたいと思う住民の割合(75%) ・基準値がH21年度となっているが、その年は社会減が比較的少なかった年度であり、その後社会減が大幅に増加しているの 住民の思惑が変化しているのではないかと。転入・転出者のニーズ調査が必要ではないか?	18	基本目標4全体	●平成24年8月から平成26年3月にかけて、転出・転入時における意識・状況を把握することを目的にアンケート調査を実施し、総合戦略においても活用していますが、総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
64	5. 「基本目標4：避けることができない未来にそなえる」について * 町民の皆さんとの「協働」の推進、を加えることを望みます。	18 ～ 20	基本目標4全体	●住民との協働は、基本目標4「(2)コミュニティの維持・強化の支援」における「地域に住む人々を主人公として、自治組織や関係団体、事業者、社会福祉協議会、行政がそれぞれの役割を担いながら、地域のつながりの強化や担い手の確保・育成、地域が抱える課題に対応するための仕組み」により推進することとしています ●より明確となるよう所要の文言等を修正します。	変更

(7) 総合戦略「3. 施策の展開」全体について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
65	○基準値と目標値(H31) が示されているが、年次目標が制定されていない。これではPDCAのサイクルが回せないのではないかと? 「註」:この計画では5年後にPDCAを回した結果、達成できなかったのは計画が社撰だったという分析結果に陥るのではないかと?	10 ～ 20	施策の展開全体	●KPIは平成31年度において、個別の取り組みの総合的な成果として達成すべき目標として設定しています。あわせて、重点的に取り組み必要がある施策については、アクションプランにおいてもKPIの設定等によりPDCAによる進捗管理に取り組みます。	変更なし
66	○目標値の設定は目標達成の施策等綿密な推進計画(戦術)に基づいて設定すべきであって、論理性のない数値目標を設定した場合PDCAをどのように回すのか疑問がある。 ・PDCAを回すためには具体的な方策を定めておく必要があるのでは(職員の異動があった場合誰が責任を持ってフォローするのか等も配慮して) 「註」:「第4次総計」での目標値設定の根拠については「パプ・コメ」の「町の考え方」で、“科学的に作成した根拠もある”旨の記載があったので情報開示請求をしたところ、説明できる資料はないとして開示されなかった。	10 ～ 20	施策の展開全体		

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
67	<p>○ 総合戦略は、問題点を羅列し、高齢化と空き家の増加等を挙げて危機感を煽っているものの「ハード面において都市計画法に基づく具体的な施策」が見当たらず、新規事業のクライנגルテンに気迫が感じられないのは残念です。</p> <p>○ 私は、本件計画において農林省補助事業の「地域間居住推進プロジェクト(クライングルテン＝農家法人法により、法人税免除が約束された「別荘付貸農園事業」＝ドイツにおいて200年以上の歴史があり、ヨーロッパで、は一般に定着した事業と言う。)の計画的推進を訴えます。(上下水道付クライングルテンは、最も優位な事業です。)</p>	10 ～ 20	施策の展開全体	<p>● 総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
68	<p>○ 農家法人を前提に、(農地等の現物出資方式で、10アール当たり100万円程度の売り上げが見込まれる。)は、大阪府又は豊能町(役場)自身が主体となるべき事業です。まずは「想定される地域に対し100～300万円程度の調査費」が必要です。・・・地域ごとに、総合戦略の説明会を開くと同時に、クライングルテンについては、その対象地域を想定し、地域の世話役と役場担当者を選任して行く・・・スピード感が重要です。</p> <p>○ 「豊かな自然」を謳いながら、その活用について示さないのは、「行政不信にとどまらず重大な責任放棄」と言わざるを得ません。真剣な取り組みをお願いします。</p> <p>○ これについて、私(行政書士として)は、幾つかの事案を提示・提案してきた事実があり、役場が果たすべき分野(自治会単位での「包括説明会と数名の世話役選任」と、「事業想定区域内権利者の調査とその賛同」を得ること)について、行政機能が全く動かない現実に驚きを覚えました。</p> <p>※国を挙げて「ふるさと創生」を叫んでいる時期です。地域創生の総合戦略策定を機に、住民の期待に応える体制づくりと、早急な対応を求めます。</p> <p>○ 本件、提唱の計画は、本町の上・下水道施設等の過剰投資にあって、最も有益かつ、効果が期待できる事業であり、将来的には「*上下水道完備のクライングルテンとして1万～2万区画くらい」を考えることが可能な地域です。</p> <p>「総合戦略の柱」と位置づけ、これを速やかに推進すべきことを申し出ます。</p> <p>(農林省の補助制度及び農林金融公庫の融資制度の概要と農家</p>	10 ～ 20	施策の展開全体	<p>● 総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p> <p>● 総合戦略は地域が主役となって取り組みを進める必要があるため、アクションプランを中心に協働を推進するための基盤・環境を整えます。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
	法人法の資料を添付します。)また、審議会において口頭陳述が許されるなら、進んでこれに応じます。				
69	<p>「創生総合戦略」を実効あるものに!</p> <p>能勢電鉄が利用できる地域や町の中心部等において「市街化区域への編入」を真剣に討議し「若者向き住宅」等の建設やときわ台駅、妙見口駅周辺の「公共用地を活用した開発、若しくは再開発」を計画にすべきです。</p> <p>借越ながら、今回提示された総合戦略の「基本目標(今後めざすべき方向性)と具体的な施策」の4項目の中に、「町の現状(目前に迫った新名神等の波及効果)を直視した政策を実施した場合の人口の増加」に繋がる要素が、全く組み入れられていないのです。</p>	10 ~ 20	施策の展開全体	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

(8) 総合戦略全体・その他について

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
70	本件のような将来にわたる重要な計画については、将来を担う若手や住民との意見交換の場の設定し十分な対応をすることを求める。	全体	策定について	●審議会には、町内で活動する若手の事業者の方にも参加いただいておりますが、総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
71	<p>行財政改革の抜本的な見直し 豊能町では行財政改革等について、度々テーマとして取り上げ取り組んできているが、それらの諸施策についてのPDCAによる分析・評価を実施して改革・改善のレベルアップが行われたものはないようだ。</p> <p>このような現状で、「まち・ひと・しごと創生事業」で“官民一体”をいくら叫んでも町民が直ちに参加・協力するとは思えない。これを改善し、協働体制を樹立していくためには、先ず、町民との間に現存するパライヤーの解消に努力する必要があると感じているので、改善の為の提案をする。</p> <p>1. 業務量の見直し等</p> <p>①民営化できる事業は早期に民営化する</p> <p>○家庭ごみ等の収集業務の民間委託は各地で実施されており相当の実績があるので、民営化に伴う問題点等を調査・分析・整理したうえで委託契約をすることができるのでは？</p> <p>○平成26年度の業務委託費(普通会計・特別会計)は、約6億円に及んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約2割の見直しができれば約1億円以上の削減ができる(或いは町内ボランティア等への内職費・収入増加に繋がる) ・業務委託には単純な集計・整理業務や調査業務も含まれ、町内住民の内職的な住事でも可能と思われるものがあるのでは？ ・町民の内職でも処理可能な単純業務等は、町民のボランティア(有・無償)に委託することができるのでは？(町民にも行政との協働の精神が芽生えるのでは) <p>「註」:町内には相当高度なレベルの専門家も在住しているので、テーマによって募集することにより範囲も拡大できるのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ごみ収集量実績の集計作業 ☆各種会議議事録の作成作業 ☆アンケート調査に伴う集計・分類・作表・作図作業 ☆例規類の改正に伴う電子化・印刷・配布作業 ☆インターネット等による各種の調査業務 ☆その他 	全体	推進について	<p>●総合計画及び個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。</p> <p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
71	<p>2. 組織の見直し等 事業の民営化等で職員に余裕が出来る答、定例的恒常業務に専念する部局と、新規事業開発や地域住民との融和・協働を進める部局に特化するの？</p> <p>①町民とのコミュニケーションを徹底する ○町職員が積極的に地域に出向き、住民から信頼される関係の構築 ○地域で抱える課題の聴取と解決に向けた参加、協力・指導、行政施策等の説明による住民の理解・納得を得るための努力をするなど</p> <p>②新規事業開発等を推進し、常に業務改善のリーダーとなる ○新規事業開発の企画・立案はもとよりその実施に必要な国・府等の補助金、交付金等を徹底的に調査しその獲得のための諸手続き等に専任する ○各種施策の事業実績について PDCA による分析・評価を主導し、全町で費用対効果に基づく施策の見直し、次の施策への反映等を定着させる</p> <p>「註」：新規開発担当部局や議会からの依頼に基づき、官公署から公表されている新規開発事業等の実績情報の収集・整理・分析や情報交換等に供するため図書館にサロンを設ける ・図書館はボランティアなどの協力を得て情報収集等に努める ・図書館で収集された情報等は住民に閲覧・公開する</p>				

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
72	<p>都市計画(線引き)の見直し</p> <p>1. 豊能町に到来した「千載一遇のチャンス」を、単なるペーパープランに終わらせてはなりません。「実行性のある都市計画(線引き見直しと用途地域の変更を含む)豊能町の創生総合戦略」を立て、国、府及び関西経済界に対して積極的に働きかけるべきときです。</p> <p>2. その為には、官民共働(国、府、大学等は元より、地主である地域の老、壮、青、婦人の活動家を結集する)が必要あり、広く会議を起こし、地域を挙げて、「町の将来を語り・夢を描く活動」を展開することが、本件「総合戦略を活かす」絶対的要件です。</p> <p>3. 関係住民を置き去りにした計画は「絵に描いた餅」となり、豊能町住民には何の効果ももたらさないことに憂いを感じ、心配でなりません。</p> <p>国の施策遵守と適法な事業推進</p> <p>1. この総合戦略は、国が進める「まち・ひと・しごと創生法(平成26年11月制定)」によるものであり、豊能町及び同住民の将来を決する重要な事項でありますから、各地(せめて、自治会単位)において、十分に説明し、併せて「住民にやる気を起してもらおう」動機づけが必要です。</p> <p>2. 即ち、住民対話の機会がなく、役場及び住民代表、産業界、大阪府を含む行政機関、大学、金融機関、労働関係者で構成された審議会とはいえ、肝心の住民の理解を得る段階において形骸化し、国家的課題について手抜きされるようなことがあってはなりません。</p> <p>国が示す「町の人口ビジョンや、まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定手法の中に、「都市計画の見直し等の要件」が含まれていないはずがありません。</p>	全体	推進について	<p>●総合計画及び個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。</p> <p>●総合戦略は行政だけではなく住民や事業者をはじめとする地域の多様な主体が一丸となって取り組みを進めていくことが必要不可欠であり、総合戦略の「総合戦略の推進・検証」(P3)や「厳しく困難な未来」を変えるために」(P7)において記載していますが、より明確になるよう、所要の文言等を修正します。</p>	変更
73	<p>町が本来果たすべき役割を含め「町の創生・総合戦略」が実りあることになるよう期待します。</p>	全体	推進について	<p>●総合戦略は、町はもとより、地域住民や事業者など地域の多様な主体による連携・協働とともに、他自治体との広域的な連携に基づいて、関連する施策・事業を展開していきます。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
74	<p>平成 28 年度末に開通する運びの「新名神高速道路(茨木北、箕面、川西の三つのインターチェンジがある)と大阪府による「止々呂美地区での開発・事業所用地(25 ヘクタールの売り出し好調等)」により「豊能町は、近畿のド真ん中に躍り出る」ことになるのであり、豊能町始まって以来の追い風を受けた「大変革期が到来」するのです。</p> <p>このような時に「都市計画上の対応がなく・既存のストック内での計画や、新規事業の軽々な扱い方では、町の将来を展望する総合戦略」と言えるものではありません。</p> <p>今一度、総合戦略の原点に立ち返り、町の将来と地域を挙げての運動(動機づけ)となる重点的かつ実効性の伴った計画にして戴くよう強く求めます。</p>	全体	—	<p>●「新名神高速道路の開通」については、地域のポテンシャルを向上させる大きな外部要因であり、総合戦略では、特に、観光をはじめとしたビジネスの創出に向けた取り組みを進めることとしています。</p> <p>●総合戦略では住宅の多様化や創業・企業進出支援等、個別の取り組みにおいて、必要に応じて都市計画上の対応していくこととしています。</p> <p>●貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし
75	<p>新名神の箕面インターも近くにできて、交通の便の良い所になります。これをPRして、人を呼び込めないでしょうか。</p>	全体	—		
76	<p>豊能町から北大阪への道</p> <p>伝統ある豊能郡を冠する町から現地を明示する北大阪を唱える価値ある街に昇格し発展する。</p> <p>古くより伊丹街道がこの地を通っていた。この山奥に皇室ゆかりの遺跡や碑が遺っている。これはこの地が丹波ばかりではなく、京、大阪を繋ぐ要衝であった証である。</p> <p>その地を「みのおトンネル」が目覚めさせた。大阪御堂筋に直結である。この価値を生かさなない選択はない。そこを目覚めないから今の豊能町がある。</p> <p>北大阪道路公団を設立して「みのおトンネル」から亀岡を結ぶ「北大阪 highway」を建設する。ドイツのアウトバーンのような高規格の道路にして、制限速度を 130 キロ/h r にする。名神高速の京都～大阪よりも所要時間を短縮される。</p> <p>この北大阪高速の開通によって余野を初めとする東地区の住宅地の展望が開けてくる。</p>	全体	—		

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
77	<p>創生戦略案を拝見し余りに他人事の問題としてとらえておられるようで落胆しました。</p> <p>最初であるからという認識で、出来るだけ客観的なとらえ方から出発する発想は、客観的な事実の羅列に終わりかねず非常に危機感の欠如を感じます。</p> <p>国としても究極の問題であることは確かですが、豊能町はどうするのですか？</p> <p>豊能町をどうするつもりですか？</p> <p>将来の絵柄を描けているのですか？</p> <p>問題意識の欠如が「豊能町が迎えるかもしれない厳しく困難な未来」という言葉になっていると思います。「かもしれない」はないでしょう。</p> <p>住民の多くが厳しい困難な状況は既に始まっている。と認識しています</p> <p>もし町政に携わる人が、現在は問題ないと認識しているのであれば、町民との認識ギャップがありすぎると思います。</p> <p>間違った絵柄を描き、基本目標を作成しているのであれば大変空しく思います。</p> <p>人口減少・高齢化社会に備えることは既に始まり、全てに影響する要素で他の項目と並列に論じられるべきではない。</p> <p>戦略そのものの見直しをお願いします。</p>	全体	—	<p>●総合戦略では人口減少や超高齢化にかかる現在及び未来における課題を「厳しく困難な未来のイメージ」として整理しています。また、本戦略では、それらの課題の対策を積極的に講じることで、持続可能なまちの実現しています。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
78	<p>私が常日ごろから考えてきた「ハード面の具体的な事例を挙げます」と…</p> <p>① ときわ台駅周辺(開発時の残存農地と、初谷川右岸=線路まで=の再開発)や妙見口駅までの徒歩 10 分圏内、新光風台西側の一庫ダム隣接地及び余野の一部等(調整区域)について「区画整理や休暇村施設」に繋がる計画及びその戦略が必要です。</p> <p>② 住民を交えて検討した結果、「線引きの見直しを先送りせざるを得ない」地域においても、各地区において「集落地域整備法に基づく区画整理や農地の基盤整備及び、農林省が推奨する(2分の1補助と、個人負担の8割についてお年償還の超低利の融資付)クライנגルテン=農家法人(3戸以上)について、今回の「総合戦略策定」を機会に「全地域において説明し」、住民に検討の機会を与え、これを集約することが必要であり「豊能町の総合戦略の実効を担保」することになるのです。</p> <p>③ 念の為、ときわ台駅近くの農地等について「中高層住宅建設用地等への変更と若者向き住宅の建設」は、豊能町が進むべき方向に合致するものであり「半世紀ぶりに訪れたチャンスに行政の役割が問われている重大事案」であることを申し添えます。</p> <p>④ また、事業所用の開発可能地(幹線道路沿や各団地間の未開発部分等)について、都市計画を見直し、「東ときわ台・ふれあい広場の総合公園化、パスセンターの設置(公園用地は、都市計画見直しの観点から指定変更が肝要)と都市核の整備」や、各種公共施設に連結する町内循環バス(中型)を、町主導の手法により総合的且つ適正な運行形態に整備することが必要です。(これについて、場当たりの施設整備ではなく、「各種施設の配置と都市核デザインを公募」し、町の創生を図るべきです。)</p>	その他	個別の取り組みについて	<p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
79	<p>⑤ 豊能町内の全地域について、次の事項は「基本的かつ緊急性」のある課題です。</p> <p>i) 余野川、切畑川、山谷川の未改修部分についての「河川改修」…府への要望事項を含め、都市計画の線引き見直し及び用途指定の変更は欠かせない課題です。</p> <p>ii) 新規の道路整備(仮称「切畑から希望が丘」への連結線、*都市計画道路「見野線(川西・大和団地)と光風台四丁目間」の連結、*都市計画道路「止々呂美町吉川線の(既存道路上計画の無駄(無意味なこと)を廃し)「光ヶ谷を経て平井川上流に至り、R477号線に接続する路線(将来的には「R477号バイパス」となる可能性が大きい)」…大阪府事業として推進されるべき性質のものですが、まずは、豊能町からの発議・要望が肝要です。</p> <p>iii) タラインガルテン整備=農林省資料添付(大規模な計画は大阪府、中・小規模の計画は豊能町が主体となるべき事業です。新規の取り組みとして、即時「着手が可能」で、新名神の完成(開通)を目標に、早急に取り組むべき課題です。)</p> <p>iv) 最も基本的な都市施策として「葬祭可能な共同利用施設(東西に1ヶ所)」を整備し、広く住民の利用を促し・公民館機能の増強・地域コミュニティの育成のため、速やかに実現すべきです。(町有地活用により、即時に実行可能なことです。)</p> <p>※この際「地域の将来」を展望する重要事案について、今次の審議会において、「住民対話集会を聞き…総合戦略」を吟味として戴くことを強く要求します。</p>	その他	個別の取り組みについて	<p>●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p> <p>●総合計画及び個別の計画の状況等については各計画によるものとなります。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
80	<p>都市計画への対応と新規のクラインガルテンは、役場(町自身)が常にその見直し及び事業推進を図るべき立場にあるものです。以下、念のため具体的経過について申し述べます。</p> <p>① 都市計画法上の規制は昭和45年(1970年)に、町の全域が市街化調整区域とされ、その2年後には、町の全域が農業振興地域の指定を受け、46年間にわたって「町づくりに関する抑制政策」が続いてきたのです。今回、これを見直さずして「町の創生や総合戦略」が成り立つはずがないのです。</p> <p>※その理由は、過去十数年にわたり「ダイオキシン問題」に振り回されてきた大阪府との関係(：横山ノック知事時代の「知事の不作為(違法)と特定住民の専横(条例に基づかない「ダイ対協設置(施設組合の上に不適法な組織をつくらせ、莫大な事業費について、事実上の実権を握られる)等」して、本来の自治制度から逸脱した特権を与え、施設組合において莫大な経費を不適法に消費させられて来たことにあるのです。</p> <p>ことの性質上この事実は、大阪府監査委員に提出した『住民監査請求書』(これは「却下とされました」が、現物を大牟田に移送することに繋がったものです。豊能町にとっては、約10億円の不適法な支出返還を求める権利があると考えます。)を添付し、その説明に変えさせて戴きます。が、これから進める事業の財源確保にとって、到底見逃すことのできない重要事項であることを申し添えます。</p> <p>② 豊能町の現実は、前記の「不適法なダイオキシン対策に10億円程を消費したこと」に加え、上・下水道、ごみ処理施設等への過剰投資(総合計画35,000人想定)から目をそらすことは出来ないのであり、地方自治の本旨に背く行政運営に翻弄されてきたことが、今日の実態に繋がっているものと言わざるを得ません。</p> <p>総合戦略には、この事実「ダイオキシン処理の不適法な執行による10億円程度の回復」を考慮しながら実効性のある「町興し政策」に繋ぐ必要があると思います。</p> <p>まずは、町長の責務において「不適法な支出回収」についての行政手続き(総務大臣に、自治法251条の2以下による調停)を求め、財源回復を図る必要があります。</p>	その他	個別の取り組みについて	<p>●個別の取り組みにおいて、必要に応じて都市計画上の対応していくこととしています。</p>	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
81	<p>現在の整備された田園稲作はT P Pの締結によって外国産米に勝てるのか。今でさえも相当の補助を受けているのではないか、なぜかひそかに行なわれているのではないか？その様な不経は続けられない、何時か破綻する。</p> <p>幸い大阪御堂筋に40～50分に繋がった地の利を生かして東地区を開発すれば、5万都市も夢ではない。</p> <p>問題は財源である。その財源の解決策は私が開発した「W風車発電機」の活用である。1基約1.5億円の投資で毎年2億円の発電量が期待できる。こういう「W風車発電機」を約10基設置すれば、償却後は民政に活用できるだろう。補助金で育った青田はぬなるが、住宅街はひろがり、商業は発達し、活気あふれる街に生まれ変わる。</p>	その他	個別の取り組みについて	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
82	<p>城山高校を全寮制高校人口として復活し、若い命を育てる誇りある事業をするべきではないか？</p> <p>その他能勢電鉄の改革にも関与して北大阪急行として発展させる。</p> <p>現在当町の人口は減る一方である。平成27年7月の人口は21,013人あったのが、4か月後には20,857人と156人減っている。人口が減らない魅力ある町にならなければ、増えることはない。</p> <p>まず勤務地が大阪御堂筋と定めて経路を設定すれば、現行では1時間で行くのは難しい。</p> <p>伊丹街道を高速道路にして、箕面トンネルを複線にすれば可能になる。その事業主体を北大阪道路公団とすれば実現する。これで東地区は町にとって黄金地帯となる。</p> <p>人口の集積が進み北大阪市となる。</p>	その他	個別の取り組みについて	●総合戦略の個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
83	<p>「第4次豊能町総合計画」では、審議会における女性委員の割合は平成27年度目標を25%とされているにも拘らず、今回その目標も達成していない</p> <p>子育て世代の意見を聴くためにもお母さん方を委員に入れて欲しい</p>	その他	審議会について	●審議会は、委員12名中3名の女性に参画いただいています。また、子育て世代を代表してPTA母親委員会の方に参加いただいています。	変更なし

No	意見内容	頁	章・項目等	回答案	対応
84	<p>この「パブ・コメ」には「戦略」と審議会の議事録が添付されているが、「パブ・コメ」に審議会の意見を反映されていないようだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「パブ・コメ」と「審議会の意見」を比べて、どちらが良いかの意見を求めているのか？ ・「パブ・コメ」に「審議会の意見」を反映する気が無いということか？ 	その他	パブコメについて	<p>●本パブリックコメントは、人口ビジョンと総合戦略の答申案策定に関し、審議会が実施しているものです。ご意見は答申案の参考とさせていただきます。</p>	変更なし
85	<p>豊能町の誇れる活用可能な資源、とは何か、どのような形で存在するのか、その活用方法にはどのようなものがあるのか、他地域のものに比べて、豊能町の特徴を浮かび上がらせ、魅力あるまちづくりに活用できるものは何かを明確にして欲しい。</p>	その他	—	<p>●総合戦略記載の各基本目標及び施策において記載していますが、個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。</p>	変更なし

4. パブリックコメントによる修正（案）

1) 人口ビジョン 新旧対照表

No	頁	修正後	修正前
1	3	図【年齢3区分別人口の推移】の注釈に以下を追加 総数は年少人口や生産年齢人口、高齢者人口の合計値で、年齢不詳は含まず	記載なし
2	15	表【市町村別流出人口】に以下の自治体を追加 茨木市、高槻市、伊丹市	記載なし
3	19	図【介護保険第1号被保険者数と要支援・要介護認定者数の見込み】の注釈に以下を追加 出現率は第1号被保険者数に占める要支援・要介護認定者数の割合	記載なし
4	23	～豊能町防災計画について～ 【地域防災力の向上】の文章を修正 住民自らが「自らの地域と自らの命は自らが守る」という防災の原点に立ち、平常時から被害の軽減を図るための措置や食料の備蓄等を自発的に行わなければならないことを理解してもらう必要があります。 そのため、豊能町防災計画では、町をはじめ関係機関が行う防災対策には限界があることを示すとともに、地域の防災情報の提供や防災知識の普及を図り、住民の防災意識の高揚を図ることとしています。	～豊能町防災計画について～ 【地域防災力の向上】 豊能町防災計画では、住民自らが「自らの地域と自らの命は自らが守る」という防災の原点に立ち、平常時から被害の軽減を図るための措置や食料の備蓄等を自発的に行わなければならないことを理解してもらうため、町をはじめ関係機関が行う防災対策には限界があることを示すとともに、地域の防災情報の提供や防災知識の普及を図り、住民の防災意識の高揚を図ることとしています。
5	26	表【近隣市町の空き家の状況（2013（平成25）年）】の自治体を修正 豊能町、豊中市、池田市、箕面市、茨木市、川西市、猪名川町	表【近隣市町の空き家の状況（2013（平成25）年）】 豊能町、箕面市、池田市、吹田市、豊中市、摂津市、高槻市、茨木市、島本町
6	33	図タイトル 【合計特殊出生率・5歳階級別出生率（全国は2010(平成22)年、豊能町は2008(平成20)～2012(平成24)年）】	図タイトル 【合計特殊出生率（総数・5歳階級別）（全国は2010(平成22)年、豊能町は2008(平成20)～2012(平成24)年）】

No	頁	修正後	修正前
7	33	<p>図【合計特殊出生率・5歳階級別出生率（全国は2010(平成22)年、豊能町は2008(平成20)～2012(平成24)年）】の横軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率 ・5歳階級別出生率 	<p>図【合計特殊出生率・5歳階級別出生率（全国は2010(平成22)年、豊能町は2008(平成20)～2012(平成24)年）】の横軸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総数 ・記載なし
8	37	<p>図【未就学児童保護者の子育て支援サービスへ要望】説明文に下線部を追加</p> <p>未就学児童保護者の子育て支援サービスへ要望をみると、<u>「安心した子どもの医療機関の利用」が最も多くなっています</u>が、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」も62.3%で・・・</p>	<p>図【未就学児童保護者の子育て支援サービスへ要望】説明文</p> <p>未就学児童保護者の子育て支援サービスへ要望をみると、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」も62.3%で・・・</p>
9	45	<p>最下段の文章を修正</p> <p>・・・豊能町に少ないことがうかがえます。また、<u>住宅・宅地の整備・拡充を求める住民は6割程度を占めています。</u></p>	<p>・・・豊能町に少ないことがうかがえます。また、住民の住宅・宅地の拡大へのニーズも高くなっています。</p>
10	50	<p>参考資料として「用語解説」を追加</p>	<p>記載なし</p>

2) 総合戦略 新旧対照表

No	頁	修正後	修正前
1	3	図【総合戦略およびアクションプランの推進イメージ】を追加	記載なし
2	12	基本目標2-(1)の主な取り組み内容に以下を追加 ●豊能ならではの教育に関する町内外への積極的かつ効果的な情報発信	記載なし
3	13	基本目標2-(2)の主な取り組み内容に以下を追加 ●豊能での子育てをかなえるためのサポートに関する町内外への積極的かつ効果的な情報提供	記載なし
4	16	基本目標3-(2)の説明文(2段落目)に下線部を追加 まちの魅力であり、貴重な財産である農業を持続可能なかたちで活性化していくため、農業の法人化をはじめ、農産物の6次産業化・ブランド化や販路拡大、 <u>新たな人材の発掘・育成に向けた取り組みを推進します。</u>	基本目標3-(2)の説明文(2段落目) まちの魅力であり、貴重な財産である農業を持続可能なかたちで活性化していくため、農業の法人化をはじめ、農産物の6次産業化・ブランド化や販路拡大に向けた取り組みを推進します。
5	19	基本目標4-(2)の説明文(2段落目)を修正 地域に住む人々を主人公として、 <u>住民はもとより、自治組織や関係団体、事業者、社会福祉協議会、行政が協働し、地域のつながりの強化や担い手の確保・育成、地域が抱える課題に対応するための仕組みづくりを進めることで、地域のコミュニティの維持・強化をめざします。</u>	基本目標4-(2)の説明文(2段落目) 地域に住む人々を主人公として、自治組織や関係団体、事業者、社会福祉協議会、行政がそれぞれの役割を担いながら、地域のつながりの強化や担い手の確保・育成、地域が抱える課題に対応するための仕組みづくりなどを進めることで、地域のコミュニティを活性化し、その力を維持・強化をめざします。
6	21-22	参考資料として「用語解説」を追加	記載なし
7	23-24	参考資料として「数値目標・KPI一覧」を追加	記載なし